

教 育 総 務 課

○ 総務係

1 教育委員の構成

平成25年3月31日現在

職 名	氏 名	任 期	備 考
委 員 長	中 居 信 明	平成21年12月23日 ～平成25年12月22日	委員長就任 平成24年12月26日
委 員 長 職務代理者	八 木 雅 文	平成22年12月25日 ～平成26年12月24日	
委 員	畠 中 節 夫	平成23年12月23日 ～平成27年12月22日	
〃	中 西 康 裕	平成24年12月23日 ～平成28年12月22日	
教 育 長	宮 崎 吉 博	平成21年12月23日 ～平成25年12月22日	

2 教育委員会の会議

(1) 委員会開催状況

平成25年3月31日現在

開 会 日 数	委員出席日数	議案及び 協議件数	処 理 状 況	
			可 決	否 決
委 員 会	12日	12日	27件	0件
協 議 会	12	12	—	—

(2) 委員会審議事項

第1回 (24. 4. 16)

協議会のみ

第2回 (24. 5. 16)

○伊勢市社会教育委員の委嘱について

○伊勢市立図書館協議会委員の任命について

第3回 (24. 6. 18)

○平成24年度補正予算 (第2号) について

第4回 (24. 7. 26)

○奨学生の決定について

第5回 (24. 8. 17)

○平成24年度教育関係補正予算 (第4号) について

○伊勢市体育施設条例の一部改正について

○平成24年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」報告書（案）について

第6回（24. 9. 24）

○伊勢市指定文化財の指定について

第7回（24. 10. 25）

○伊勢市体育施設条例施行規則の一部改正について

第8回（24. 10. 31）

○職員の懲戒処分について

第9回（24. 11. 26）

○伊勢市北浜スポーツグラウンドの指定管理者の指定について

○平成24年度教育関係補正予算（第6号）について

第10回（24. 12. 26）

○委員長選挙について

○委員長職務代理者の指定について

○平成25年度伊勢市立小中学校教職員人事異動方針案について

第11回（25. 1. 24）

○平成25年度学校業務員、給食調理士及び幼稚園教諭の人事異動方針について

○伊勢市体育施設条例の一部改正について

第12回（25. 2. 25）

○就学等に関する規則の一部改正について

第13回（25. 3. 18）

○平成25年度伊勢市幼稚園・小中学校教育方針について

○厚生中学校コミュニティスクールの指定について

○伊勢市教育委員会事務局等処務規則の一部改正について

○語学指導を行う外国人青年の勤務条件等に関する規則の一部改正について

○伊勢市体育施設条例施行規則の一部改正について

○伊勢市教育委員会事務局事務決裁規程の一部改正について

○伊勢市学校教職員安全衛生管理規程の一部改正について

臨時採択（24. 6. 18）

○規律違反報告書について

臨時採択（25. 3. 26）

○職員の人事異動について

3 学校備品整備

学校管理、事務処理など学校（園）運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境を整え学校運営の円滑化を図った。

区分	金額	内容
小学校	8,614,317 円	デジタル式電話装置（東大淀小ほか1校）バッテリー式車いす用階段昇降車（神社小学校）コピー機（有緝小、大湊小、北浜小）消火栓ホースほか
中学校	4,403,845	デジタル式電話装置（五十鈴中）コピー機（五十鈴中、厚生中、宮川中、北浜中、御菌中）消火栓ホースほか
幼稚園	649,700	鉄棒（小俣幼稚園）電子ピアノ（明野幼稚園）ワイアレスアンプ（城田幼稚園）ほか
計	13,667,862	—

4 奨学生関係

経済的理由により修学が困難な大学又は高等学校に在学する学生、生徒に対し奨学金を支給し、奨学生の学費の負担を軽減するとともに、有用な人材の育成に努めた。

採用状況

種別	区分	応募者数	採用者数	支給額（月額）
	高校	私立	11人	7人
	公立	30	29	5,500
大学	県外	9	9	10,000
	県内	8	7	8,000
高専 （1～3年）	私立	1	1	6,000
	公立	1	1	5,500
高専 （4～5年）	県外	0	0	10,000
	県内	0	0	8,000

5 主な事業

（1）就学援助制度事業

経済的理由により就学困難な家庭に、学用品費、修学旅行費、学校給食費等を助成した。

区分 保護別	小学校			中学校		
	費目	支給人数	支給額	費目	支給人数	支給額
要保護	修学旅行費	7 人	165,688 円	修学旅行費	10 人	561,291 円
	医療費	1	16,020	医療費	0	0
	計		181,708	計		561,291

準要保護	修学旅行費	人	円	修学旅行費	人	円
		121	2,859,493		107	5,903,137
	学用品費等	576	7,632,160	学用品費等	372	9,038,290
	新入学学用品費	55	1,094,500	新入学学用品費	98	2,244,200
	医 療 費	17	103,680	医 療 費	10	101,280
	給 食 費	577	23,449,344	給 食 費	371	16,873,853
	計		35,139,177	計		34,160,760
	合 計		35,320,885	合 計		34,722,051

(2) スクールバス運行事業

遠距離通学児童生徒の通学上の安全と利便を確保するため事業を行った。

- ① 高麗広地区（宇治今在家町）；囑託員のスクールバス運転手を雇用した。

高麗広～進修小学校～五十鈴中学校、平成24年度利用者数 小学校 2名

- ② 横輪町・矢持町地区；三重交通（株）にスクールバス運行業務を委託した。

矢持町床ノ木～沼木中学校、平成24年度利用者数 小学校 8名 中学校 1名

委託期間 平成24年 4月 1日～平成25年 3月 31日

(3) 遠距離通学児童、生徒定期代等助成事業

遠距離通学等児童、生徒の通学上の安全と保護者負担の軽減を図るため、通学定期代金の1/3を助成した。（要保護・準要保護児童は全額）

対象校 中島小学校（辻久留町・辻久留3丁目）、佐八小学校（津村町・大倉町）

二見小学校（光の街、溝口、江、松下）

宮川中学校（県道伊勢南島線を自転車通学する生徒）

○ 管理係

1 小学校整備事業

小学校施設の維持管理のため、次の事業を実施した。

(1) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
黒 瀬 町 内 地	(注1) 浜郷小学校校舎防 水改修工事	校舎屋根防水改修【ウ レタン塗膜防水】 1,195㎡	(注2) 円 7,049,000	24. 2. 24	24. 4. 18
一 志 町 内 地	厚生小学校コンピ ューター教室空調 設備改修工事	天井吊り空調設備 (10馬力) 1組	1,281,000	24. 6. 6	24. 6. 27

御 菌 町 長 屋 地 内	御菌小学校空調設備冷温水発生器電装部品交換修繕工事	CPU基盤交換ほか 一式	円 1,155,000	24. 6. 8	24. 7. 6
二俣1丁目 地 内 ほか	(注1) 中島小学校ほか塩素注入装置取付工事	塩素注入装置取付 3か所 (中島・大湊・小俣)	1,651,650	24. 8.10	24. 9.12
御 菌 町 長 屋 地 内	御菌小学校空調冷温水機溶液ポンプ等取替工事	冷温水機溶液ポンプ取替え 1台 逆止弁取替え 1か所	1,260,000	24. 8. 7	24.10.11
上 地 町 地 内	(注1) 城田小学校校舎防水改修工事	RC造陸屋根防水改修 673㎡	10,025,400	24.12. 7	25. 2. 4
村 松 町 地 内	(注1) 北浜小学校プール塗装工事	プール塗装 高学年用プール塗装 229㎡ 低学年用プール塗装 89㎡	2,169,300	24.12.21	25. 2. 5
久 世 戸 町 地 内 ほか	(注1) 修道小学校ほか電気設備改修工事	高圧受電設備 4校改修 (修道・城田・豊浜東・神社)	3,263,400	24.12.28	25. 2.26
久 世 戸 町 地 内	(注1) 修道小学校プール塗装工事	プール塗装 451㎡ 樹脂グレーチング改修 106m	3,933,300	24.12.28	25. 2.28
船江2丁目 地 内	(注1) 有緝小学校プール塗装等工事	プール塗装 619㎡ 長尺塩ビ防滑性床シート貼 88㎡ 連結孔進入防止蓋設置 26か所	4,633,650	24.12.28	25. 3.15
〃	(注1) 有緝小学校プールろ過機取替工事	プールろ過機取替 一式	4,591,650	24.12.28	25. 3.15
久 世 戸 町 地 内	(注1) 修道小学校洋式トイレ設置工事	洋式トイレ改修 6か所	2,541,000	24.12.28	25. 2.28
東 豊 浜 町 地 内	豊浜東小学校保健室シャワー設置工事	シャワーユニット設置 1基	1,029,000	24.12.19	25. 1.17
岡本1丁目 地 内	明倫小学校受電設備工事	遮断器、開閉器ほか 一式	231,000	25. 1.25	25. 2.28
計	14件	—	44,814,350	—	—

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 平成23年度から繰越

2 中学校整備事業

中学校施設の維持管理のため、次の事業を実施した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
磯地町内	御菌中学校屋内運動場バスケットボールコートライン書換	ライン書換 3面	円 724,500	24. 7. 18	24. 8. 31
栗野町内	城田中学校ほか屋内運動場バスケットボールコートライン書換	ライン書換 城田中 1面 厚生中、五十鈴中 各2面	1,281,000	24. 9. 5	24. 9. 28
二俣4丁目地内	宮川中学校ほか屋内運動場バスケットボール等コートライン書換	ライン書換 宮川中、港中、倉田山中 各2面 バドミントンコート 宮川中 3面	1,709,820	24. 10. 24	24. 11. 30
計	3件	—	3,715,320	—	—

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
一之木5丁目地内	(注1) 厚生中学校防球ネット設置工事	バックネット新設 1か所 防球ネット (H= 8m) 72m (H=13m) 50m	円 21,263,550	24. 6. 22	24. 10. 3
神田久志本町地内	(注2) 倉田山中学校プール解体工事	プール解体 鉄筋コンクリート造一式	7,618,800	24. 11. 22	25. 1. 10
二俣4丁目地内	(注2) 宮川中学校給水管改修工事	給水設備改修 一式 消火設備改修 一式	5,569,200	24. 12. 21	25. 3. 15
神田久志本町地内	(注2) 倉田山中学校駐輪場設置工事	駐輪場設置 1,800×2,800 9連棟	2,153,550	24. 12. 28	25. 3. 15
東大淀町地内ほか	(注1) 北浜中学校ほか防球ネット設置工事	防球ネット (H=10m) 北浜 50m 港 20m	7,938,000	25. 1. 25	25. 3. 15
竹ヶ鼻町地内	港中学校高圧電気設備改修工事	屋内用負荷開閉器取付け、変圧器取替え 一式	1,186,500	25. 1. 28	25. 2. 22
計	6件	—	45,729,600	—	—

(注1) 維持課施行

(注2) 建築住宅課施行

3 幼稚園整備事業

幼稚園施設の維持管理のため、次の事業を実施した。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町 本町地内	小俣幼稚園電気設備改修工事	SOG、避雷器ほか取替え一式	円 840,000	24. 7. 20	24. 8. 23

4 空調設備整備事業（小学校費）

教育環境の改善のため、次の事業を実施した。

(1) 賃貸借関係

施行場所	案件名	概要	金額 (契約額)
西豊浜町 地内ほか	伊勢市立豊浜西小学校ほか1校空調機賃貸借	(注) 豊浜西、豊浜東 賃貸借期間 H24. 8. 1～H28. 3. 31	円 12,294,000 (24,150,000)
村松町 地内ほか	伊勢市立北浜小学校ほか1校空調機賃貸借	(注) 北浜、東大淀 賃貸借期間 H24. 8. 1～H28. 3. 31	10,690,000 (21,000,000)
計	2件		22,984,000 (45,150,000)

(注) 債務負担行為 平成25年度～平成27年度

5 空調設備整備事業（中学校費）

教育環境の改善のため、次の事業を実施した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
一之木 5丁目地内	(注) 伊勢市立厚生中学校空調設備増設工事設計業務委託	校舎空調改修設計RC 3階建 6,123㎡	円 1,246,350	24. 11. 22	25. 2. 19

(注) 建築住宅課施行

(2) 賃貸借関係

施行場所	案件名	概要	金額 (契約額)
西豊浜町 地内ほか	伊勢市立豊浜中学校ほか1校空調機賃貸借	(注) 豊浜、北浜 賃貸借期間 H24. 8. 1～H28. 3. 31	円 11,760,000 (23,100,000)

(注) 債務負担行為 平成25年度～平成27年度

6 空調設備整備事業（幼稚園費）

教育環境の改善のため、次の事業を実施した。

(1) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
神 社 港 地 内	(注) 神社幼稚園空調設 備設置工事	パッケージエアコン 4組取付	円 3,843,000	24. 5.18	24. 6.18
村 松 町 地 内	(注) 北浜幼稚園空調設 備設置工事	パッケージエアコン 2組取付	2,047,500	24. 5.18	24. 6.18
上 地 町 地 内	(注) 城田幼稚園空調設 備設置工事	パッケージエアコン 4組取付	3,465,000	24. 5.18	24. 6.29
計	3件	—	9,355,500	—	—

(注) 建築住宅課施行

7 幼稚園施設防災対策事業

地震時に飛散したガラス片での怪我を予防するために、次の事業を実施した。

(1) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
村 松 町 地 内 ほか	(注) 北浜幼稚園ほか飛 散防止フィルム貼 付工事	飛散防止フィルム貼付 一式 (北浜・神社・城田・ 明野・小俣)	円 3,248,700	24. 8.10	24. 9.25

(注) 建築住宅課施行

8 四郷小学校特別教室棟使用状況

(1) 四郷小学校特別教室棟（H24. 4. 1～H25. 3. 31）

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
134	28	162	2,644	276	762

○ 学校統合準備室関係

1 伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置推進事業

(1) 事業の目的

学校の小規模化による課題を解消し、本市の子どもたちが確かな学力を身に付け、豊かな人間性と健やかな体の育成といった「生きる力」を育むことができる、より望ましい教育環境の構築と、教育の質の充実を図ることを目的とする。

(2) 説明会等の開催について

第1期（H24～H28）に統廃合を予定している対象校のPTA本部役員、保護者、地域住民及び幼稚園・保育所の保護者等への説明会・個別説明等を実施した。

開催期間 平成24年5月11日～平成25年3月23日

開催回数 計124回

参加人数 延べ1,637人

地 区	学 校	実施回数		
		P T A	自治会等	幼稚園・保育所
豊浜・北浜	豊浜中学校	5 (6)	12 (17)	1 (2)
	豊浜東小学校	4 (5)		
	豊浜西小学校	6 (7)		
	北浜中学校	6 (7)	20 (26)	1 (2)
	北浜小学校	4 (5)		
	東大淀小学校	3 (4)		
宮川・沼木	宮川中学校	3 (4)		2 (3)
	早修小学校	1 (2)	1 (4)	
	中島小学校	1 (2)	2 (5)	
	佐八小学校	4 (5)	5 (8)	
	沼木中学校	3 (4)	13 (16)	
	上野小学校	4 (5)		
神社・大湊	神社小学校	2 (3)	8 (11)	2 (3)
	大湊小学校	2 (3)	6 (9)	
二見・今一色	二見小学校	1 (2)	0 (3)	1 (2)
	今一色小学校	1 (3)	0 (4)	
計		50 (67)	67 (103)	7 (12)
合 計		124 (182)		

※上記表の（ ）内の数字は平成22年度からの説明会等の累積回数

(3) 事業周知用パンフレットの作成

パンフレット『「夢と意欲を持ち未来を切り拓く人づくり」のために-より望ましい教育環境の構築に向けて-』を作成し、窓口や説明会会場での配付、ホームページ掲載により事業推進のための周知を図った。 計4,000部作成

(4) 先進地視察の実施

他県の教育委員会における小中学校の適正規模化・適正配置に係る取組の現状や先進的な取組等を把握し、今後の事業推進の充実のため先進地視察を行った。

①実施日 平成24年5月29日～30日

視察先 静岡県伊豆市

内 容 伊豆市学校再編について

※市議会教育民生委員会管外行政視察に同行

②実施日 平成24年11月15日～16日

視察先 広島県呉市、広島市

内 容 学校統合について ほか

(5) 伊勢市立小中学校の管理運営に係る庁内調整会議の開催

事業推進に伴う課題や問題点、保護者及び地域住民からの要望・意見等について、関係各課による庁内調整会議を開催し、協議・調整を図った。

開催年月日	内 容	
24. 6. 5	第1回	・今年度の説明会での状況について ・跡地利用について ・昨年度からの課題及び今後の調整事項について
24. 7. 20	第2回	・伊勢市立小中学校の管理運営に係る庁内調整会議設置要綱の一部改正について ・説明会の進捗状況について ・跡地利用等について
24. 8. 28	第3回	・説明会の進捗状況について ・跡地利用等について
24. 10. 10	第4回	・説明会の進捗状況について ・豊浜中学校区・北浜中学校区について
24. 11. 8	第5回	・説明会の進捗状況について ・豊浜中学校区・北浜中学校区について
25. 1. 18	第6回	・説明会の進捗状況について ・統合対象校について

25. 3. 25	第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会の進捗状況について ・統合準備会（豊浜中・北浜中）について
-----------	-----	--

(6) 伊勢市立小中学校統合準備会の開催

伊勢市立の小中学校の統合を円滑に推進するとともに、新しく設置される学校の開校に向けての準備を行うため、小中学校統合準備会を設置し会議を開催した。

ア 豊浜中学校・北浜中学校統合準備会

開催年月日	内 容	
25. 2. 26	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経過について ・学校統合準備会の説明 ・学校統合準備会の運営方法について ・検討部会について ・今後のスケジュールについて ・統合校の建設地の選定について
25. 3. 6	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・統合校の建設地の選定について
25. 3. 13	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・統合校の建設地の選定について
25. 3. 21	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・統合校の建設地の選定について

学 校 教 育 課

○ 学校教育関係

1 児童生徒数及び学級数（平成24年5月1日現在）

児童生徒数においては、小学校で6,994人(前年比-158人)、中学校で3,573人(前年比-51人)、学級数においては、小学校で303学級(前年比+4学級)、中学校で135学級(前年比+6学級)であった。

小学校児童数の最多は小俣小の686人で、最少は今一色小の77人であり、学級数の最多は小俣小の27学級、最少は豊浜東小・上野小の6学級であった。また、12学級以上18学級以下の学校は7校、19学級以上は5校、11学級以下は12校であった。

中学校生徒数の最多は小俣中の549人で、最少は沼木中の37人であり、学級数の最多は小俣中の19学級で最少は沼木中の3学級であった。また、12学級以上18学級以下の学校は4校、19学級以上は1校、11学級以下は7校であった。

(1) 小学校

平成24年5月1日現在

区分 学校名	児 童 数	学 級 数			区分 学校名	児 童 数	学 級 数		
		通 常	特別支援	計			通 常	特別支援	計
進 修	人 166	学級 6	学級 1	学級 7	豊浜東	人 98	学級 6	学級 -	学級 6
修 道	327	12	3	15	豊浜西	169	7	1	8
有 緝	607	21	2	23	北 浜	175	7	1	8
早 修	106	6	1	7	東大淀	144	6	2	8
中 島	295	12	3	15	城 田	365	12	2	14
明 倫	374	14	2	16	上 野	91	6	-	6
厚 生	352	13	1	14	二 見	497	18	2	20
神 社	370	12	2	14	今一色	77	6	1	7
大 湊	163	6	1	7	小 俣	686	24	3	27
佐 八	119	6	1	7	明 野	544	19	2	21
宮 山	227	10	1	11	御 菌	549	17	5	22
浜 郷	343	12	1	13	合 計	6,994	264	39	303
四 郷	150	6	1	7					

(2) 中学校

平成24年5月1日現在

区分 学校名	生徒数	学級数		
		通常	特別支援	計
倉田山	426人	14学級	1学級	15学級
厚生	450	14	2	16
宮川	301	9	2	11
港	365	12	2	14
豊浜	157	6	1	7
北浜	173	6	1	7
沼木	37	3	-	3
城田	171	7	1	8
五十鈴	365	11	3	14
二見	282	9	1	10
小俣	549	16	3	19
御薊	297	10	1	11
合計	3,573	117	18	135

(3) 幼稚園

平成24年5月1日現在

区分 幼稚園名	3歳児	4歳児	5歳児	計
北浜	-人	-人	4人	4人
神社	-	8	14	22
城田	-	7	7	14
小俣	51	55	45	151
明野	20	25	20	65
合計	71	95	90	256

※沼木幼稚園は16年度から休園 ※早修幼稚園は18年度から休園

※豊浜西、豊浜東幼稚園は20年度から休園

※四郷幼稚園は23年度からあさま保育所と一体化し、しごうこども園

2 学校の指定

伊勢市立の小学校及び中学校の就学すべき学校の指定に関する規則に基づき、入学する小学校、中学校を指定した。

(1) 就学指定校変更許可基準

地理的条件・留守家庭・住居建築中・転居予定・途中転居・健康上の理由・教育上の配慮・
特殊事情

(2) 児童・生徒の異動（平成25年3月31日現在）

区分	入学	卒業	途中転入	途中転出等
小学校	1,084人	1,237人	107人	113人
中学校	1,183	1,213	29	18

3 教職員数（平成24年5月1日現在）

教員（基準+加配）は小学校354人、中学校は220人。

小学校に合計11人で123時間分、中学校に合計15人で124時間分の非常勤講師が県から配置され、少人数指導などに活用した。

市雇用で特別支援学級や通常学級に学習支援員として小学校に50人、中学校に19人を配置し、個に応じたきめ細かな教育体制づくりを推進した。

スクールカウンセラーは、県から全中学校と小学校5校に配置されるとともに、市雇用で小俣中に1人を配置し、児童生徒・教職員及び保護者のカウンセリングを行った。

(1) 小学校教職員数

区分 学校名	県費負担教職員						市費負担職員			計
	校長	教頭	教諭	養護 教諭	栄教 学栄	事務 職員	業務員	給食 調理	学習支援員	
進修	1人	1人	9人	1人	—	1人	1人	3人	2人	19人
修道	1	1	18	1	1	1	1	4	1	29
有緝	1	1	26	1	1	1	1	6	4	42
早修	1	1	8	1	—	1	1	2	1	16
中島	1	1	17	1	—	1	1	4	2	28
明倫	1	1	22	1	1	1	1	4	3	35
厚生	1	1	16	1	1	1	1	4	3	29
神社	1	1	16	1	1	1	1	4	2	28
大湊	1	1	8	1	—	1	1	2	1	16
佐八	1	1	8	1	—	1	1	2	1	16
宮山	1	1	12	1	—	1	1	3	1	21
浜郷	1	1	16	1	—	1	1	5	2	28
四郷	1	1	9	1	1	1	1	3	2	20
豊浜東	1	1	7	1	—	1	1	2	—	14
豊浜西	1	1	9	1	—	1	1	3	1	18
北浜	1	1	9	1	—	1	1	3	2	19
東大淀	1	1	9	1	—	1	1	2	3	19
城田	1	1	17	1	1	1	1	5	3	31
上野	1	1	7	1	—	1	1	2	1	15
二見	1	1	22	1	—	1	1	5	2	34
今一色	1	1	8	1	1	1	1	2	1	17
小俣	1	1	29	1	1	1	1	6	3	44
明野	1	1	24	1	—	1	1	5	3	37
御蘭	1	1	27	1	1	1	1	7	5	45
合計	24	24	353	24	10	24	24	88	49	620

(2) 中学校教職員数

区分 学校名	県費負担教職員						市費負担職員			計
	校長	教頭	教諭	養護 教諭	栄教 学栄	事務 職員	業務員	給食 調理	学習支 援員	
倉田山	1人	1人	22人	1人	一人	1人	1人	一人	1人	28人
厚生	1	1	25	1	1	1	1	—	3	34
宮川	1	1	19	1	—	1	1	—	2	26
港	1	1	21	1	—	1	1	—	3	29
豊浜	1	1	12	1	—	1	1	—	1	18
北浜	1	1	12	1	—	1	1	—	1	18
沼木	1	1	6	1	—	1	1	—	—	11
城田	1	1	12	1	—	1	1	—	—	17
五十鈴	1	1	24	1	—	1	1	—	3	32
二見	1	1	16	1	—	1	1	5	1	27
小俣	1	1	33	1	1	2	1	7	3	50
御菌	1	1	18	1	—	1	1	5	1	29
合計	12	12	220	12	2	13	12	17	19	319

(3) 幼稚園教職員数

区分 幼稚園	区分			区分 幼稚園	区分		
	園長	教諭	計		園長	教諭	計
北浜	1人	2人	3人	小俣	1人	8人	9人
神社	1	2	3	明野	1	3	4
城田	1	3	4				
				合計	5	18	23

4 学校行事の概要 (平成24年度)

儀式的行事、学芸的行事、健康安全・体育的行事、遠足・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事などを行い、学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行った。

実施月日	行 事	実施月日	行 事
4/3	しごうこども園入園式	10/6	伊勢まつり連合鼓笛、吹奏楽
4/6. 7. 9. 10	小中学校入学式	10/5~23	前期終業式
4/6. 9	小中学校始業式	10/6~24	後期始業式
4/11	幼稚園入園式	10/11~11/16	小学校修学旅行(1泊2日)4校
4/11~5/10	中学校修学旅行(2泊3日)	10/27. 11/3. 4. 10. 11	小学校文化祭
5/1~5/30	小学校修学旅行(1泊2日)20校	10/27. 28	中学校文化祭
4/19~6/3	小学校遠足・社会見学(1日)	11/11	中学校音楽演劇発表会
6月下旬~7月中旬	学校水泳	12/1. 2	教育美術展
9/8. 9	科学創作展	3/8	中学校卒業式
6/2, 9/8. 11. 15. 22	中学校運動会	3/15	小学校卒業式
6/3. 9, 9/15. 22. 23. 29, 10/13	小学校運動会	3/19	幼稚園卒園式
9月下旬~11月中旬	小学校遠足・社会見学(1日)	3/15~25	小中学校修了式

5 学校教材整備

各校の実態に応じた教材の整備を進め、教育環境の充実を図った。また、学校図書館が、その機能を十分に発揮できるよう図書等の充実を図った。加えて、理科教育のために理科教育振興法に基づく理科教材及び特別支援学級に対する備品を整備し、学習環境の充実を図った。

区分	学校教材	学校図書館	理科教育振興法に基づく理科教材	特別支援教育設備	計
小学校	円 11,750,071	円 9,109,274	円 786,323	円 335,020	円 21,980,688
中学校	17,912,283	7,736,126	1,438,760	391,837	27,479,006
合計	29,662,354	16,845,400	2,225,083	726,857	49,459,694

6 主な事業

(1) 学校評議員設置事業

学校長は学校運営に関するの助言や地域の情報を学校評議員から得て、学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。(学校評議員は、有識者・保護者・地域住民から校長が推薦し教育委員会から委嘱する)

(学校評議員一覧)

区分	保護者代表(PTA役員含む)	地域代表(学校所在地近辺の自治会長等)	有識者等	計
小学校	17人	70人	17人	104人
中学校	16	22	7	45

(2) 学びのグレードアップ総合推進事業

新学習指導要領に対応した学力の向上を図ることを目的として、目標基準準拠検査(CRT)を市内全小中学校で実施し、検査結果から児童生徒の学習到達度を明らかにし指導に生かすとともに、新教育課程一般に係る実践的研究及び道德、特別活動、総合的な学習の時間の実践研究を展開した。

目標基準準拠検査は、小学校5年生を対象に、国語・社会・算数・理科、中学校2年生を対象に、国語・社会・数学・理科・英語を実施し、結果を分析し、指導にいかした。

新教育課程一般に係る実践的研究においては、小学校4校・中学校2校の研究指定校を核に研究を行った。研究協力校においては、大学等から講師を招聘し研究を行い、市内の教職員に対して公開研究会を行った。研究内容は以下のものであった。

学校名	研究内容
修道小学校	新教育課程一般（算数）の実践研究
明倫小学校	新教育課程一般（算数）の実践研究
厚生小学校	新教育課程一般（国語）の実践研究
小俣小学校	新教育課程一般（国語）の実践研究
豊浜中学校	新教育課程一般（英語）の実践研究
城田中学校	新教育課程一般（英語）の実践研究

道徳、特別活動、総合的な学習の時間の実践研究においては、研究指定校小学校4校・中学校4校において以下のような教育活動を行った。

学校名	研究内容
修道小学校	地域の文化を活用した活動・英語活動の実践研究
明倫小学校	地域文化の体験学習の実践研究
城田小学校	農業や地域との交流、環境の調査等の実践研究
明野小学校	人権・福祉学習の実践研究
厚生中学校	学校運営協議会と連携した活動の実践研究
宮川中学校	防災教育の実践研究
五十鈴中学校	自らの生き方を考える学習の実践研究
小俣中学校	人権学習の実践研究

(3) 未来へチャレンジ！職場体験推進事業

キャリア教育の一環として、自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学校2年生を対象に、学校、家庭、地域社会が一丸となって地域ぐるみで職場体験活動を組織し実施することで生徒の個性の伸長、望ましい職業観、ひいては「生きる力」を育むとともに、地域社会にあつては、生徒の体験先を発掘・紹介したり、直接生徒を指導したりすることで、「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めた。

市内中学校で3日間の職場体験学習を実施した。

平成24年度実施校の職場体験施設数・生徒数

	倉田山	厚生	宮川	港	豊浜	北浜	沼木	城田	五十鈴	二見	小俣	御菌
施設数	39	49	32	42	14	23	7	18	36	28	65	22
生徒数	113	166	105	118	53	70	16	69	106	80	165	107

(4) 子どもたちとつくる「やさしいまち伊勢市」支援事業

児童生徒が地域の人との交流（ふれあい）や地域探検を通して、高齢者や障がい者が住みやすいまちづくりについて考え、気づき、行動する取組を支援した。

① 「やさしいまち伊勢市発見大賞」の実施

ユニバーサルデザインの部、発見・体験エピソード作文の部、俳句・短歌の部の3部門に分けて市内の小中学生を対象に、作品を募集したところ、751点の応募作品があった。入選作品は伊勢市のホームページで紹介した。

② 事業推進校（小学校6校、中学校3校）において高齢者や障がいのある人の疑似体験を実施し、高齢者や障がいのある人への理解や共感につなげる活動が進められた。推進校の取り組みの一部は、伊勢市のホームページでも紹介した。

(5) A L T (外国語指導助手) 活動事業

英語を母語とする青年を招致し、中学校の英語科担当教員とともに英語指導に当たり、生徒の語学力の向上に努めた。また、小学校の外国語活動において担当教員とともに児童の英語に親しむ態度を養ったり、幼稚園や地域住民との交流を深めたり、伊勢市の国際理解教育の促進に努めたりした。

中学校の英語科において、発音や会話等を中心に生徒がA L Tの生きた英語に触れたり、休み時間や放課後のふれあいを通じて英語力や国際コミュニケーション能力の育成に努めた。また、小学校外国語活動において、歌やゲーム等を中心に児童が楽しみながらコミュニケーションを図ったり、外国の文化について学んだりできるよう努めた。

10名のうち3名はJETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)のA L T、7名は民間派遣(シティ・スタッフ)のA L Tである。

1~2中学校区に1人のA L Tを配置し、中学校と中学校区内の小学校を担当し、小中の英語教育の連携を図った。

(6) 広島平和記念式典への参加

非核・平和運営事業の一環として、市内各中学校代表24名及び教諭2名、指導主事2名を8月6日に広島市で開催された平和記念式典に派遣した。平成23年度は昨年引き続き鈴木市長も同行された。生徒は戦争の悲惨さと核兵器の廃絶を実現することの大切さを学んだ。

各中学校では、全校生徒で折った千羽鶴を代表に託したり、代表生徒による報告会を実施したりして、全校で平和学習に取り組んだ。

8月18日に、「ハートプラザみその」において、市民参加の下、報告会を実施した。また、報告会の様子をITVで放映したり、参加生徒の作文集を広報いせ及びホームページに掲載し、広く市民に平和の尊さを伝えた。

(7) 学校教育支援事業

地域人材や学生を、学習支援員・教育支援ボランティア・学校安全ボランティアとして活用することで、学習環境の整備に努め、個に応じたきめ細かな支援や指導を行い、特別支援教育の充実や確かな学力の定着を図った。ひいては、地域社会の学校教育への理解と協力を求め、開かれた学校づくりを推進した。

- ① 特別支援教育の充実のため、特別支援学級や通常学級に在籍する児童生徒の生活面や学習面の支援を行う学習支援員や教育支援ボランティアを配置した。
- ② 教育支援ボランティアを配置し、少人数学習や、図書館運営、部活動、校外学習などの支援を行い、教育活動の充実を図った。
- ③ 地域人材等を学校安全ボランティアとして登録し、通学路等の見守りを行い、幼児児童生徒の安全確保を図った。

配置および活動状況

学習支援員 小学校23校 55人 中学校10校 19人(平成25年3月31日現在)
教育支援・学校安全ボランティア

○登録者数（平成25年3月31日現在）

- ・教育支援 118人
- ・学校安全 716人（小学校23校、中学校1校：各校区で随時活動）

○教育支援ボランティア活動数（平成25年3月31日現在）

- ・活動人数 103人（学習支援57人、学校図書館支援14人、部活動支援7人、保育活動補助18人、日本語指導4人、心の支援3人）
- ・活動回数 3,948回（平成24年4月～平成25年3月）
他に皇學館大学生等の大学生も活動。

○ 人権教育関係

1 学校人権教育

すべての学校（園）で人権教育の具体的な課題を明確にし、指導体制を確立して、その推進を図った。また、子どもたち一人ひとりを大切にする教育を充実するとともに、指導内容を研究し、学力の向上を図った。

（1）管理職（教頭）人権教育研修会

小・中学校での人権教育の取組をより深めるため、平成24年6月29日、管理職（教頭）研修会を開催し、講演会を行った。

（2）伊勢市人権・同和教育研究会への事業委託

人権教育の調査・研究や研修会の開催などの事業を伊勢市人権・同和教育研究会へ委託し、人権教育の推進を図った。

（3）中学校区ヒューマン・ライツ推進事業

研究指定中学校区で人権教育の指導の改善・充実について実践研究に取り組むとともに、幼稚園・小学校・中学校がそれぞれ授業交流に努めた。平成24年度は、倉田山・厚生・北浜・沼木・城田・二見中学校区を研究校区に指定し、実施した。

（4）伊勢度会人権教育実践交流会

城田中学校区にて実施し、市内全小中学校及び度会郡内小中学校から140名の参加を得、実践交流を行った。

（5）リーダー養成研修事業

小・中学校の人権教育担当者を対象に校内の人権教育を推進するために必要な資質向上をめざし演習を中心とした研修会を実施した。また、学校における人権教育の手引きとなる冊子を全教職員分850冊作成し、各小・中学校へ配付した。

	開催月日	テーマ	内 容
1回	24. 5. 24	人権学習推進委員として人権学習の進め方	演習（グループワーク）
2回	24. 7. 6	授業反省会の持ち方	小学校の公開授業を基にK J法を使った授業反省会の実践

3回	24. 9. 28	出会い学習（生き方に学ぶ）	出会い学習の体験、グループワーク
4回	24. 10. 17	先進的な授業実践に学ぶ	文科省指定研究会における中学校人権学習公開授業及び反省会への参加
5回	25. 2. 5	部落問題学習から学ぶ	高校生の感想から小中学校の実践を考える。人権教育推進委員として、次年度に向けて。

(6) 人権作文集『人権の芽』の発行

小・中学校で人権作文を募集し、その中から選出した作品により文集を発行することで、児童・生徒が人権についてあらためて考える機会を設けた。373件の応募があり、63件を選出し、文集にまとめた。作文集は1,150冊作成し、各小・中学校等へ配付した。

(7) 『伊勢市小中学校人権教育授業実践事例集』の発行

小・中学校における人権教育の授業実践をより充実させるため、各学校からの実践事例の集約とその事例集の発行を行った。300冊作成し、各小・中学校へ配付した。

(8) 伊勢市子ども人権フォーラム21

子どもたちが人権学習や生活の場で学んだことをもとに体験等を発表し合い、お互いの思いや願いを受け止めあいながら人権問題に対する認識を深めた。また、その学びをすべての学校で還元し、人権学習の充実を図ることを目的として実施した。

小学生 11月28日(水) 伊勢市観光文化会館 大ホール

中学生 12月 5日(水) //

○ 教育集会所関係

1 教育集会所管理運営事業

教育集会所等に人権教育指導員を配置し、集会所活動に従事するとともに、地域での人権教育の推進に努めた。

2 教育集会所活動（教育集会所人権教育事業）

人権が尊重されるまちづくりをめざし、文化教養を高め、また地域交流を図るため、子ども人権スクールの開設や啓発紙の発行を行った。

集会所と活動区分		回数	延べ参加人員	活動内容
朝熊教育集会所	子ども人権スクール 小学生学習会	37回	514人	同和問題やいじめをはじめとする人権問題に取り組む力を身に付けるために、仲間づくりに係る諸活動や、地域におけるフィールドワーク、聞き取り等を通して、「生きる力」の育成を図った。
	中学生学習会	47	256	
	高校生学習会	12	39	
	「輝きねっと」人権学習会	28	2,343	

黒瀬教育集会所	子ども人権スクール	小学生学習会	30	611	同和問題やいじめをはじめとする人権問題に取り組む力を身に付けるために、仲間づくりに係る諸活動や、地域におけるフィールドワーク、聞き取り等を通して、「生きる力」の育成を図った。
		中学生学習会	27	37	
		高校生学習会	12	24	
		小学生人権学習	13	754	
小木教育集会所	「きずな」編集会議		12	46	地域啓発活動のひとつとして、啓発紙を月1回、神社地区を対象に発行した。
	ミニ人権フェスティバル		1	100	人権啓発パネル等展示 小中学生、地域住民の作品展示等

3 小木教育集会所下水道接続工事

小木地内の公共下水道の整備が完了したため、次の事業を実施した。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小木町内	(注) 小木教育集会所 下水道接続工事	管布施工 L=33.7m ます設置工 N=5か所 水中ポンプ設置工 N=1か所 舗装復旧工 A=109㎡	円 924,000	25. 2. 8	25. 3. 15

(注) 下水道建設課施行

○ 保健関係

幼児、児童、生徒及び職員の健康管理のため、学校保健安全法に基づく各種検診を次のとおり実施し、検診結果を文書により保護者と職員に通知した。

1 結核検診（全児童・生徒）

区分	検査人員	対策委員会 検討者	精密検査該当者	結果
小学校	6,990人	7人	3人	異常無し 3人
中学校	3,682	0	0	
計	10,672	7	3	異常無し 3

※ 結核の予防・早期発見等の観点から、学校医が緊急に精密検査を必要と認めた場合は、対策委員会を待たず、精密検査を受診することとした。

2 尿検査（幼児・児童・生徒）

区 分	第1次検査				第2次検査			
	検査人員	陽性者内訳			検査人員	陽性者内訳		
		蛋白	糖	潜血		蛋白	糖	潜血
小学校	6,993人	18人	2人	25人	39人	3人	0人	2人
中学校	3,549	56	3	44	101	5	0	2
幼稚園	256	0	1	0	1	0	0	0
計	10,798	74	6	69	141	8	0	4

3 寄生虫予防（幼児・小学校1年生～3年生）

対象学年	被検査者	卵保有者	卵保有率
小学校1年生～3年生	3,351人	1人	0.03%
幼稚園児	256	0	0.00
計	3,607	1	0.03

4 眼科検診（幼児・児童・生徒）

区 分	小学校	中学校	幼稚園	計
被 検 診 者 数	6970人	3,545人	252人	10,767人
裸眼視力 1.0 未満	1,670	803	0	2,473
眼 位 異 常	131(1.87)	17(0.48)	0(0.00)	148(1.37)
アレルギー性結膜炎	75(1.07)	35(0.99)	1(0.40)	111(1.03)
その 他 結 膜 炎	12(0.17)	2(0.06)	0(0.00)	14(0.13)
その他の眼疾患	42(0.60)	18(0.51)	5(1.98)	65(0.60)
合 計	260(3.71)	72(2.04)	6(2.38)	238(2.21)

（注）（ ）は有所見率（%）

5 歯科検診（全児童・生徒・幼児）

区 分	小学校	中学校	幼稚園	計
被 検 診 者 数	6,980人	3,520人	255人	10,755人
う 歯 な し の 者	2,534(36.30)	1,285(36.51)	141(55.29)	3,960(36.82)
う 歯 処 置 完 了 者	1,817(26.03)	858(24.38)	32(12.55)	2,707(25.17)
未処置う歯のある者	2,629(37.66)	1,377(39.12)	72(28.24)	4,078(37.92)
歯 列 咬 合 異 常	169(2.42)	154(4.38)	14(5.49)	337(3.13)
顎 関 節 異 常	4(0.06)	4(0.11)	0(0.00)	8(0.07)
歯 垢 の 状 態	123(1.76)	113(3.21)	1(0.39)	237(2.20)
歯 肉 異 常	40(0.57)	96(2.73)	0(0.00)	136(1.26)
その他の歯の疾患	799(11.45)	400(11.36)	16(6.27)	1,215(11.30)
合 計	1,135(16.26)	767(21.79)	31(12.16)	1,933(17.97)

（注）（ ）は有所見率（%）

6 耳鼻咽喉科検診（小学校1年生・4年生及び中学校1年生）

区 分	小学校	中学校	計
被 検 診 者 数	2,489人	1,180人	3,669人
難 聴 の 疑 い	5(0.20)	6(0.51)	11(0.30)
中 耳 炎	6(0.24)	0(0.00)	6(0.16)
耳 垢 栓 塞	118(4.74)	41(3.47)	159(4.33)
その他の耳疾患・異常	22(0.88)	4(0.34)	26(0.71)
副 鼻 腔 炎	36(1.45)	14(1.19)	50(1.36)
アレルギ－性鼻炎	183(7.35)	118(10.00)	301(8.20)
鼻 炎	158(6.35)	76(6.44)	234(6.38)
鼻 中 隔 わ ん 曲 症	0(0.00)	0(0.00)	0(0.00)
その他の鼻疾患・異常	18(0.72)	12(1.02)	30(0.82)
扁 桃 炎	3(0.12)	4(0.34)	7(0.19)
扁 桃 肥 大	64(2.57)	19(1.61)	83(2.26)
その他の咽頭喉頭疾患	13(0.52)	2(0.17)	15(0.41)
合 計	626(25.15)	296(25.08)	922(25.13)

(注) ()は有所見率 (%)

7 心臓検診（小学校1年生・中学校1年生）

対 象 学 年	心電図検査	心音図検査	要 精 検 査	所 見 率
小学校1年	1,070人	1,070人	35人	3.27%
中学校1年	1,184	1,184	67	5.66
計	2,254	2,254	102	4.53

8 日本スポーツ振興センター加入、給付状況

区 分	加入人員	医 療 費 給付件数	給 付 率	給付金額	発生件数
小 学 校	6,995人	747件	10.68%	4,606,708円	499件
中 学 校	3,567	983	27.56	5,848,144	491
幼 稚 園	260	12	4.62	58,820	11
計	10,822	1,742	16.10	10,513,672	1,001

※加入人員のうち小学校2名、幼稚園4名は23年度途中の追加者

(年度の途中に加入した児童生徒等については、翌年に掛金を支払うこととなっている。)

※主な傷病名 手足の挫傷・打撲・骨折等

9 学校保健安全法による医療状況

区 分	小 学 校		中 学 校		計	
	要保護	準要保護	要保護	準要保護	要保護	準要保護
う 歯	1件	28件	0件	22件	1件	50件
蓄 膿 症	0	0	0	0	0	0
中 耳 炎	0	1	0	0	0	1
調 剤	0	1	0	0	0	0

○ 給食関係

1 完全給食校及び給食延べ人数

(1) 単独自校調理方式（小学校24校 中学校3校）

学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数
進 修小学校	30,710人	浜 郷小学校	63,455人	明 野小学校	100,640人
修 道 〃	60,495	四 郷 〃	27,750	御 菌 〃	101,565
有 緝 〃	112,295	豊浜東 〃	18,130	小学校合計	1,293,890
早 修 〃	19,610	豊浜西 〃	31,265		
中 島 〃	54,575	北 浜 〃	32,375		
明 倫 〃	69,190	東大淀 〃	26,640	二 見中学校	50,760
厚 生 〃	65,120	城 田 〃	67,525	小 俣 〃	98,820
神 社 〃	68,450	上 野 〃	16,835	御 菌 〃	53,460
大 湊 〃	30,155	二 見 〃	91,945	中学校合計	203,040
佐 八 〃	22,015	今一色 〃	14,245		
宮 山 〃	41,995	小 俣 〃	126,910	計	1,496,930

(2) 共同調理場方式（中学校9校）

学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数
倉田山中中学校	76,680人	港 中学校	65,700人	沼 木中学校	6,660人
厚 生 〃	81,000	豊 浜 〃	28,260	城 田 〃	30,780
宮 川 〃	54,180	北 浜 〃	31,140	五十鈴 〃	65,700
				計	440,100

2 給食費及び給食回数

区 分		給食費（児童・生徒1人当たり）	給食回数
完全給食	小学校	低学年（1年～3年）	185回
		高学年（4年～6年）	
	中 学 校 （単独自校調理方式3校）		180回
	中 学 校 （共同調理場方式9校）		

3 献立について

文部科学省の学校給食摂取基準に基づき、主食は米飯週4回、パン週1回とし、児童生徒の嗜好も考慮した献立を作成した。本年度も地産地消の推進に伴い、単独自校調理方式の学校は2献立（A・B）とした。共同調理場方式の学校についても地産地消の推進に伴い、単独自校調理方式の学校とは別献立とし、給食を実施した。

単独自校調理方式

- ・ A献立（進修小・修道小・明倫小・神社小・大湊小・佐八小・浜郷小・四郷小・上野小
二見小・今一色小・御菌小・二見中・御菌中）
- ・ B献立（有緝小・早修小・中島小・厚生小・宮山小・豊浜東小・豊浜西小・北浜小・東大淀小
城田小・小俣小・明野小・小俣中）
- ・ 共同調理場方式
（倉田山中・厚生中・宮川中・港中・豊浜中・北浜中・沼木中・城田中・五十鈴中）

4 学校給食施設の整備

・給食室備品の老朽化及び衛生面において必要である備品の購入

品名	メーカー・規格	金額
高速度ミキサー	修道小学校 MX-46	円 83,475
高速度ミキサー	小俣小学校 MX-46	83,475
野菜調理機	小俣小学校 VC-4	192,990
丸型フライヤー	有緝小学校 ガス式・二槽式 FGSHT-180-2	714,000
スチームコンベクション オーブン	有緝小学校 TSCO-10GDN	2,634,135
食器消毒保管庫	小俣小学校 HSB-40DPA3-1	1,176,000

5 中学校給食施設管理経費

伊勢市中学校給食共同調理場運営のための業務委託を実施した。

委託名	委託業者	委託金額	契約期間
伊勢市中学校給食共同調理場調理等業務委託	トモ・伊勢料理納入協同組合特定調理業務共同企業体	円 289,879,776 (内63,806,480円 平成24年度分)	20.10～25.3
伊勢市中学校給食配送業務委託	株式会社 シント物流	97,524,000 (内21,672,000円 平成24年度分)	20.10～25.3
伊勢市中学校給食共同調理場警備業務委託	三重総合警備保障 株式会社	1,564,920 (内347,760円 平成24年度分)	20.10～25.3

伊勢市中学校給食共同調理場ばいじん量測定業務委託	株式会社 中部環境技術センター	円 113,400	24. 6～25. 3
伊勢市中学校給食共同調理場内外清掃業務委託	株式会社 三重フジミ	504,000	24. 6～24. 8
伊勢市中学校給食共同調理場ボイラーストレージタンク保守点検整備業務委託	杉山設備 株式会社	913,500	24. 4～25. 3
伊勢市中学校給食共同調理場電気保安管理業務委託	財団法人 中部電気保安協会	623,280	24. 4～25. 3
伊勢市中学校給食共同調理場除害施設維持管理業務委託	山田清掃 有限会社	1,522,500	24. 4～25. 3
伊勢市中学校給食共同調理場除害施設汚泥処理業務委託	株式会社 ミヤテック	3,910,788	24. 4～25. 3
伊勢市中学校給食共同調理場除害施設汚泥収集運搬業務委託	有限会社 近代清掃社	1,582,941	24. 4～25. 3
伊勢市中学校給食共同調理場給食可燃ごみ等収集運搬業務委託	中南勢清掃 有限会社	452,568	24. 4～25. 3
伊勢市中学校給食共同調理場芝生・植木管理業務委託	有限会社 小久保植樹園	396,900	24. 5～25. 3
伊勢市中学校給食共同調理場空調設備保守点検業務委託	杉山設備 株式会社	1,244,250	24. 7～25. 3
伊勢市中学校給食共同調理場冷凍・冷蔵庫保守点検業務委託	ホシザキ東海株式会社 伊勢営業所	218,400	24. 7～24. 8
伊勢市中学校給食共同調理場生ごみ処理機維持管理業務委託	菱田建材 株式会社	1,708,332 (内500,000円 平成24年度分)	23. 9～27. 3

○ 食育推進関係

平成17年7月に「食育基本法」が施行され、平成19年3月には、「三重県食育推進計画」が作成された。伊勢市においても、平成21年3月に「伊勢市食育推進計画」を策定し取組を進めてきたが、計画期間の終了に伴い、これまでの取組を検証し、より一層の食育の推進を図るために「第2次伊勢市食育推進計画」を策定した。第2次計画では、食に関する施策の基本となる5つの事項を定めることにより、総合的かつ計画的に食育を推進していく。

第2次伊勢市食育推進計画の具体的な施策

- ① 家庭における食育の推進
- ② 学校・幼稚園・保育所等における食育の推進
- ③ 地域における食育の推進
- ④ 地産地消の推進と食文化の継承
- ⑤ ライフステージに応じた食育推進運動の展開

(関係課：健康課、こども課、農林水産課、商工労政課)

・計画期間 平成25年度～平成29年度

1 学校における食育の実施

伊勢市食育推進計画に基づき「全小中学校で、栄養教諭・学校栄養職員の専門性を生かした食育の推進を図る」「各学校がこれまで行ってきた特色ある食に関する指導をさらに進め、食に関する指導の充実を図る」ために、それぞれにおいて、地域の人材を活用した食に関する指導、地域の食に関する文化や環境を生かした体験活動、地場産物を効果的に活用した指導等、子どもの実態や地域の特性を生かした取組等を実施した。また、2月には、管理職、食育担当者、栄養教諭、養護教諭等を対象に食物アレルギー対応に係る研修会等を持ち、各学校における食物アレルギーを有する子どもへの適切な対応やエピペンの使用方法等について確認をした。

- ① 食育担当者連絡協議会（4月、11月、2月）
- ② 給食調理員を対象とした調理講習会（8月、1月）

〔講師：三重県立相可高校 村林新吾教諭〕

(1) 「学校における食育推進体制整備事業」の実施

児童、生徒が生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育む基礎を作り、将来にわたって健康に生活していけるよう、食事を楽しみ、栄養や食事のとり方について自ら判断し、実施していく「食に関する自己管理能力」や「望ましい食習慣」を身に付けることを目的に、以下のとおり実施した。

学校名	テーマ
小俣幼稚園	健やかな心と体を育てるために ～幼稚園における食育の充実～
有緝小学校	わかる つながる 高め合う子どもたちをめざして ～食を通してみえるもの～

城田小学校	育て！つながり合える城田の子ども ～農業を営む地域を舞台に展開する学習～
宮山小学校	地域を知り、地域の良さを誇れる児童の育成
小俣中学校	学校・家庭・地域の連携による食育の取組

(2) 「地域の力を活用した特色ある食育推進事業」の実施

地域の人材を（プロの料理人等）を活用し、児童・生徒を対象とした特色ある食に関する指導を行うことで、食事の重要性、感謝の心、食文化等、食に関する指導の一層の充実を図ることを目的に以下のとおり実施した。

学校名	テーマ
明野幼稚園	明野高校の生徒との交流を通じた、園児の稲作体験や餅つき体験
早修小学校	6年生・5年生「地域の食材を生かした調理実習」
中島小学校	「はじまりのまち伊勢」におけるおもてなしメニューにチャレンジ
北浜小学校	地域の食材「魚」を使った料理に挑戦
二見中学校	地域の食材を用いた調理実習

生涯学習・スポーツ課

○ 生涯学習関係

1 社会教育推進事業

(1) 社会教育委員兼公民館運営審議会兼生涯学習推進協議会

ア 社会教育委員兼公民館運営審議会委員兼生涯学習推進協議会委員 11名

イ 委員会議

第1回 平成24年7月26日(木) 小俣公民館1階第1会議室

第2回 平成24年10月11日(木) 小俣公民館1階第1会議室

第3回 平成25年2月21日(木) 伊勢市生涯学習センターいせトピア 学習室2

社会教育関係事業及び伊勢市生涯学習センター事業の実施状況などについての審議を行った。

また、平成25年度に伊勢市及び志摩市で開催される、第55回全国社会教育研究大会三重大会への取組みについて説明を行った。

ウ 委員研修

○社会教育委員先進地視察(第54回全国社会教育研究大会に参加)

平成24年10月25日(木)～26日(金) 甲府市総合市民会館 ほか

(1日目) 全体会 開会行事・記念講演・シンポジウム・閉会行事

全国社会教育委員連合表彰にて、伊勢市の小寺留男委員が表彰された。

また、次期開催地挨拶にて、県教育委員会事務局、三重大会実行委員正副会長と共に、伊勢市社会教育委員及び事務局が三重大会のPRを行った。

(2日目) 分科会

○第1分科会：家庭教育支援 ○第2分科会：社会教育と学校教育の協働

○第3分科会：地域の教育力向上 ○第4分科会：社会教育委員の役割

○第5分科会：社会教育施設のあり方

○三重県社会教育委員連絡協議会主催の研修会等に参加

(2) 女性団体の育成

ア 女性学級の開設

市内8地区の婦人会会員の学習活動を支援するため、1か月2講座を上限として講師料の一部を助成した。

学 級 名	のべ開講数	のべ出席人数
修道・有緝第1・有緝第2・明倫・厚生・中島・早修・浜郷	599 回	5,414 人

イ 飯田市婦人会との交流事業

女性団体の活動を通して、両市の友好親善を深めるとともに、女性団体活動の充実と明るいまちづくり活動を全市的に推進するための相互研修として飯田市婦人会との交流会を実施している。平成23年度からは実施方法を隔年相互交流とし、平成24年度は受入であったが台風の接近により中止とした。

2 家庭教育事業

(1) 親子リフレッシュコーナー

毎月2回木曜日に未就学児とその保護者を対象として、以下のねらいのもと伊勢市生涯学習センター指定管理者において実施した。

保護者…幼児期や子育てについての情報交換をしたり悩み相談をしたりして子育てのリフレッシュを図る。

子ども…集団生活に慣れるとともに、色々な経験の中でまわりの人との関わり方を身につける。

開催回数	のべ参加者数 (保護者)	のべ参加者数 (子ども)	主な内容
回 24	名 493	名 523	ペープサート、紙芝居、ゆび遊び、ゲーム、大型絵本、創作活動など

3 生涯学習推進事業

(1) 生涯学習講座の実施

市管理の公民館等を利用し住民の生涯学習への参加・啓発を目的とし、通年講座・前期講座・後期講座・単期講座として下表のような教室を実施した。

ア 小俣公民館講座

	NO	講座名	回数(回)	受講者数(人)	場所
通年	1	恵比寿学園	5	20	小俣公民館ほか
	2	女子力UP!!セミナー	5	17	〃
	3	子ども和太鼓教室	42	20	小俣農村環境改善センター
前期	4	英会話教室	16	20	小俣公民館
	5	平清盛は悪人か	5	13	〃
	6	パッチワーク教室	10	14	〃
	7	フラダンス教室	10	15	〃
	8	おしゃれなワンプレートランチ	5	20	小俣農村環境改善センター
	9	季節の花講座	5	16	小俣公民館
後期	10	はじめての韓国語	16	17	〃
	11	はじめての茶道	10	8	小俣農村環境改善センター
	12	書道教室	10	10	小俣公民館
	13	伊勢音頭教室	10	19	〃
	14	木目込み人形教室	10	13	小俣農村環境改善センター
	15	おしゃれなワンプレートランチ	5	24	〃
	16	花を楽しむ	5	20	小俣公民館

短期	17	カルトナーージュ講座	1	12	小俣公民館
	18	バレンタインスイーツ講座	1	19	小俣農村環境改善センター
	19	折り紙教室	1	29	〃
	計	—	—	326	—

イ 二見公民館講座

	NO	講座名	回数(回)	受講者数(人)	場所
通年	1	二見太鼓	20	10	二見ミーティングセンター
前期	2	伊勢の大神宮と二見	5	20	二見生涯学習センター
	3	やさしい古文書	5	12	二見公民館
	4	はじめてのクレパス画	10	6	〃
	5	草木染め	5	16	〃
	6	ベジフル・ビューティー	5	17	〃
後期	7	中国語	16	10	〃
	8	競技かるた	6	8	〃
	9	アロマセラピー	5	6	〃
	10	アレンジフラワー入門	6	12	〃
	11	ベジフル・ビューティー	5	18	〃
短期	12	ラッピング講座	1	15	〃
	13	アイシングクッキー講座	1	11	〃
	計	—	—	161	—

ウ 御菌公民館講座

	NO	講座名	回数(回)	受講者数(人)	場所
通年	1	ふれあい講座	5	10	御菌公民館ほか
前期	2	はじめての韓国語	16	23	御菌公民館
	3	ビーズアクセサリ	10	8	〃
	4	はじめての三味線	10	12	〃
	5	健康ヨガ	10	20	〃
	6	基礎ストレッチ	5	20	〃
後期	7	はじめての三味線	10	10	〃
	8	基礎ペン字	10	24	〃
	9	音楽でイングリッシュ	16	18	〃
	10	かんたん手編み	10	9	〃
	11	はじめてのマジック	10	11	〃
	12	基礎ストレッチ	4	20	〃
短期	13	風呂敷アレンジ講座	1	18	〃
	14	クリスマスケーキ講座	1	24	ハートプラザみその
	計	—	—	227	—

(2) 生涯学習活動サークル調べ

伊勢市生涯学習センター、小俣公民館、二見公民館、御菌公民館、市内9支所（コミュニティセンター）など、市内で活動している生涯学習グループの詳細を調査し、市民の生涯学習相談に応じられるよう生涯学習情報ファイルを作成した。（回答数 154団体）

(3) 学生ボランティア

伊勢市生涯学習センターで行われる子ども向けの行事の企画・運営に携わる中で、ボランティア活動の楽しさを見いだすことや、様々なボランティア活動に携わる人たちとの交流から、ボランティア活動に対する視野を広げることを目的として実施した。（平成24年度登録92名）

回数	開催日	活動内容	参加者数
第1回	24. 6. 16	学生ボランティア第1回研修会 『CHALLENGE OF CHANGE ～ボランティアの魅力と極意～』 講師 杉谷哲也 氏	名 26
第2回	24. 7. 14	子どもわくわく体験フェスティバル 事前学習会	17
第3回	24. 8. 4 24. 8. 5	子どもわくわく体験フェスティバル 前日準備 " 当日運営	26 15
第4回	24. 11. 18	高麗広ふれあいハイキングへの協力（運営スタッフ）	11
第5回	25. 1. 5 25. 1. 6	新春まつり 前日準備 " 当日運営	12 12

4 公民館管理事業

(1) 指定管理者による管理運営

小俣、二見、御菌公民館については市が直接管理し、各地域にある13公民館は、指定管理者制度を導入し、地元自治会による管理運営を委託している。

（指定期間：平成23年4月1日～平成28年3月31日）

(2) 高麗広公民館

ア 指定管理者制度の導入

指定管理者制度を導入し、地元運営委員会に管理運営を委託している。

（指定期間：平成23年4月1日～平成28年3月31日）

イ 公民館の利用状況

利用回数	のべ利用者数	主な内容
89回	1,269人	転倒防止予防講座、コンサート 演芸会、地区常会など

ウ ふれあいハイキング

平成24年11月18日（日）、高麗広の自然の美しさと高麗広公民館やふれあい工房を広く市民の方々に知ってもらうことを目的に、県営陸上競技場駐車場から高麗広公民館までの片道9kmのコースでふれあいハイキングを実施した。当日は好天に恵まれ約70名の参加があった。

(3) 小俣公民館

ア 使用状況 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

区 分	使用回数	使用人数
第1会議室	317回	6,628人
第2会議室	313	4,958
学 習 室	152	3,258
2階会議室	230	2,116
講 堂	482	6,455
3階会議室	73	742
団 体 室	114	1,651
計	1,681	25,808

(4) 二見公民館

ア 使用状況 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

区 分	使用回数	使用人数
大会議室	221回	3,509人
和 室	163	1,333
視聴覚室	118	1,172
調理実習室	54	935
計	556	6,949

(5) 御菌公民館

ア 使用状況 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

区 分	使用回数	使用人数
講 堂	291回	4,092人
研修室2-1	177	2,653
研修室2-2	76	884
和 室	108	577
学 習 室	126	2,206
計	778	10,412

(6) 公民館の維持管理

ア 修 繕

施設の機能の維持を図るため修繕等を行った。(23件 1,323,494円)

イ 工 事

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町茶屋 地 内	二見公民館事務室 空調機取付工事	事務室空調機器設置 (天吊型・単相200V) 一式	円 498,750	24. 7. 9	24. 7. 27
〃	二見公民館前広場 臨時駐車場整備工 事	砕石敷き 一式	99,750	24.10.22	24.10.24

御菌町新開地内	新開公民館男子トイレ改修工事	洋式便器取替一式	円 168,000	24. 8. 27	24. 9. 5
計	3件	—	766,500	—	—

5 生涯学習センター管理事業

(1) 伊勢市生涯学習センター

ア 指定管理の導入

指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種講座やイベントを開催するなど、市民の生涯学習へのきっかけづくりに取り組んでいる。

施設名	指定管理者	指定期間	指定管理料(千円)
伊勢市生涯学習センター (いせトピア)	特定非営利活動法人 まなびの広場	21. 4. 1 ～ 26. 3. 31 (5年間)	総額 387,000
			(各年度) H21 76,500
			H22 77,000
			H23 77,500
			H24 78,000
			H25 78,000

イ モニタリングの実施

指定管理者制度の導入による効果を調査するため、市民に対して指定管理者導入によるサービスの変化などについて調査した。(回答数 659通)

ウ 指定管理者による管理運営状況

(ア) 利用状況

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

区分		使用日数	使用回数	使用人数
多目的 ホール	ホール全体	日 217	回 409	人 54,989
	舞台のみ	81	108	1,764
	フロアのみ	115	126	2,682
楽屋1		74	159	144
楽屋2		60	133	154
学習室1		324	845	11,102
絵画室		269	467	5,232
工芸室		292	517	6,562
会議室1		254	525	4,086
調理室		188	307	3,426
和室		286	491	4,769
学習室2		302	605	10,075
学習室3		300	548	7,269
会議室2		315	729	7,101
研修室1		278	523	18,421
研修室2		271	503	2,481
文化交流室		307	599	10,361
パソコン室		260	543	7,726
れいんぼうルーム		269	627	1,013
団体室		298	1,120	3,055
ふれあい広場		161	448	11,724
計		4,921	10,332	174,136

(イ) センター講座の実施状況

期 別	講座種別	講座数	募集人数	応募者数	受講者数
年 間 (1期～4期)	6か月講座	講座 19	人 908	人 831	人 818
	4か月講座	30	625	736	520
	パソコン講座	33	615	780	545
	短期講座	31	665	776	579
	子ども向け講座	15	360	437	341
計		128	3,173	3,560	2,803

(ウ) センターイベント事業実施状況

開催日	行事名	内容	入場者数
24. 7. 28	第1回いせトピア 公開講座	講師 山村武彦 氏 演題 「巨大地震に備える目からウロコの 防災新常識」	名 113
24. 8. 5	子どもわくわく体験 フェスティバル	リサイクル工作、マジック体験、 ゲームコーナーなど	1,260
24. 9. 15	名作映画鑑賞会	「煙突の見える場所」	77
24. 9. 16	名作映画鑑賞会	「お早よう」	42
24. 10. 13	第2回いせトピア 公開講座	講師 杉尾秀哉 氏 演題 「テレビの世界から」	147
24. 12. 15	第3回いせトピア 公開講座	講師 篠原菊紀 氏 演題 「脳を鍛える活脳トレーニング」	202
25. 1. 6	新春まつり	リサイクル工作、もちつき大会、マジック 体験、カルタ大会など	1,400
25. 2. 2 25. 2. 3	伊勢市生涯学習 フェスティバル	舞台部門と展示部門に分かれ、日ごろの成 果を発表	2,600
25. 3. 23	第4回いせトピア 公開講座	講師 佐野有美 氏 演題 「私が夢を語るなら～どんな状況で も夢をもつ大切さについて」	148

(2) 二見生涯学習センター

ア 施設管理

毎週日、月曜日、祝日、年末年始の休館日を除き、午前9時から午後10時まで開館し、市民の生涯学習へのきっかけづくりに努めた。また、各種団体の総会を含む会議の場所を提供した。

イ 使用状況

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

区 分	使用日数	使用回数	使用人数
1階ホール	日 193	回 347	人 4,441
研修室1	-	-	-
研修室2	100	141	1,921
研修室3	135	166	1,411
研修室4	66	67	493
計	494	721	8,266

※平成19年12月から1階研修室1を伊勢志摩観光コンベンション機構事務所に貸与している。

(3) 施設の維持管理

ア 修繕

生涯学習センターの機能の維持を図るため修繕等を行った。

伊勢市生涯学習センター（協定書に基づく10万円以上の修繕） 6件 1,460,550円

二見生涯学習センター 5件 293,055円

イ 工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋地内	(注) 二見生涯学習センターホール空調設備改修工事	パッケージエアコン 4組取付	円 4,446,750	24. 6. 1	24. 7. 13
黒瀬町内	伊勢市生涯学習センター多目的ホール床面修繕工事	ポリウレタン樹脂塗装 378㎡	357,000	24. 12. 11	25. 1. 4
〃	(注) 伊勢市生涯学習センターガラス飛散防止フィルム貼付工事	飛散防止フィルム貼付 一式	7,048,650	24. 12. 21	25. 2. 28
〃	伊勢市生涯学習センター冷温水発生機3号機改修工事	冷温水発生機3号機改修 一式	516,600	24. 12. 25	25. 1. 23
〃	伊勢市生涯学習センター消防設備改修工事	通路誘導灯改修 11か所 避難口誘導灯改修 6か所	420,000	25. 1. 10	25. 1. 25
〃	伊勢市生涯学習センター外壁等雨漏り修繕工事	雨漏り修繕 一式	754,950	25. 1. 21	25. 2. 19
〃	伊勢市生涯学習センター多目的ホール音響設備改修工事	音響設備改修 一式	929,250	25. 1. 30	25. 2. 28
計	7件	—	14,473,200	—	—

(注) 建築住宅課施行

6 学習等供用施設管理事業

(1) 指定管理者による管理運営

小俣北部公民館については市が直接管理し、各地域にある19の学習等供用施設については、指定管理者制度を導入し、地元自治会に管理運営を委託している。

(指定期間：平成23年4月1日～平成28年3月31日)

また、各地区の学習等供用施設について、施設の老朽化による補修及び修繕等を協定書に基づき、地元負担金を徴収し実施した。

ア 修繕

施設の機能の維持を図るため修繕等を行なった。(10件 756,297円)

イ 工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村松町 地内	村松町民会館フェンス改修工事	ネットフェンス設置一式	円 287,385	24. 9. 3	24. 9. 21

(2) 小俣北部公民館

ア 使用状況 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

区分	使用回数	使用人数
学習室(1)	回 42	人 397
学習室(2)	143	1,834
学習室(3)	114	767
集会室	141	3,375
計	440	6,373

イ 修繕

施設の機能の維持を図るため修繕等を行った。(3件 120,225円)

7 その他社会教育関係事業

(1) 伊勢文化サークル協会活動への助成

地域における文化振興と、生涯学習の推進の担い手となっている伊勢文化サークル協会の自主的な活動を支援し、地域における生涯学習の振興に努めた。

ア 支部文化祭

小俣支部	43団体 770人	作品展示会	24. 10. 27～28	小俣農村環境改善センター 小俣図書館
		芸能発表会	24. 11. 10	小俣農村環境改善センター
二見支部	36団体 416人	作品展示会	24. 11. 3～5	二見体育館
		芸能発表会	24. 11. 4	二見公民館
御薊支部	25団体 274人	作品展示会	24. 11. 10～11	ハートプラザみその
		芸能発表会	24. 10. 28	ハートプラザみその

イ 講演会

日 時：平成25年 2月17日（日）14時～16時

場 所：小俣図書館 2階ホール

内 容：①寸劇

演題：悪徳商法とクーリングオフ

講師：小俣町消費生活学級

②簡単健康体操

講師：奥田紀夫 氏

参加者：79名

(2) 放課後こどもプラン推進事業

放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、教育委員会の主導のもと、教育部局と福祉部局が連携を図り、総合的な放課後政策として実施している。教育部局が実施する「放課後子ども教室」は、委託先を伊勢文化サークル協会一本に絞り、市内の小学生を対象としたさまざまな体験活動を中心とした教室として、事業を実施した。

○実施教室数：46教室

○参加人数：1,018人

(3) その他生涯学習関連施設

ア 貸し出し状況（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	区 分	使用回数	使用人数
小俣農村環境改善センター	多目的ホール	回 735	人 24,537
	1階会議室	279	5,995
	和 室	245	3,895
	実 習 室	95	2,250
	2階会議室	105	2,938
	研 修 室	210	5,463
	計	1,669	45,078
小俣老人福祉会館	集 会 室	309	5,914
	会 議 室	282	2,462
	計	591	8,376

イ 修繕

施設の機能の維持を図るため修繕等を行った。

（小俣農村環境改善センター 5件 214,835円）

○ 図書館関係

1 利用状況

伊勢図書館・小俣図書館及び分室（伊勢市生涯学習センター、沼木・豊浜・神社・城田・北浜・浜郷・宮本・大湊・四郷コミュニティセンター、市立伊勢総合病院、ハートプラザみその、二見公民館）の利用状況は次のとおりであった。

（1）貸出人数、貸出冊数、蔵書数

区分	貸出人数	貸出冊数	蔵書数
伊勢図書館	99,094	399,704	275,058
小俣図書館	71,163	315,393	164,763
生涯分室	210	462	1,352
沼木分室	379	904	1,973
豊浜分室	112	271	2,369
神社分室	651	1,763	2,155
城田分室	247	577	3,284
北浜分室	439	1,453	3,212
浜郷分室	543	1,315	2,629
宮本分室	237	726	2,816
大湊分室	447	875	2,670
四郷分室	276	762	2,152
病院分室	717	1,448	4,256
ハートプラザみその	1,036	3,404	6,830
二見公民館	445	1,070	8,490
計	175,996	730,127	484,009

（2）その他利用状況

（伊勢図書館）

開館日	入館者	予約	インターネット予約	リクエスト	相互借受	相互貸出	複写
日	人	件	件	冊	冊	件	件
288	280,815	12,334	7,300	4,452	3,216	762	2,045
映像資料	聴覚資料	インターネット	フリースポット	レファレンス	視聴覚室	小会議室	展示ホール
件	件	件	件	件	件	件	件
5,216	109	4,062	1,829	1,751	141	147	14

（小俣図書館）

開館日	入館者	予約	インターネット予約	リクエスト	相互借受	相互貸出	複写
日	人	件	件	冊	冊	件	件
287	210,089	5,166	2,120	594	1,231	623	753
映像資料	聴覚資料	インターネット	フリースポット ※	レファレンス	ホール	会議室	ギャラリー
件	件	件	件	件	件	件	件
6,204	154	1,761	1,722	452	68	89	20

※23年9月からフリースポットサービス開始。小俣図書館はパソコン室の従来の利用件数も含む

（3）利用者登録数（平成25年3月31日現在）

市内 103,469件、市外 17,089件、計 120,558件

2 図書館活動

(1) 子育て支援ブックスタート

子育て支援の一環として、家庭内で絵本を通じた親子の交流のきっかけとなるよう、図書館窓口ほか、保健センターで行われる「1歳6か月児健康診査」の際や「パパとママの教室」において、絵本が2冊入ったブックスタートパックを対象乳幼児に配付した。(配付数1,134人)

(2) 主な図書館行事、施設見学受入等

(伊勢図書館)

行事名	回数	参加人数	備考
	回	人	
おはなし会	66	1,685	図書館スタッフ、ボランティアによる絵本や紙芝居のおはなし会
上映会	17	386	視聴覚室において映画等の鑑賞
図書館見学	5	174	豊浜東小、中島小、明倫小、上野小、ボーイスカウト団員
職場体験	3	11	小俣中、御薮中、港中
出張ブックトーク	2	247	明倫小、進修小
絵本と子育て講座	10	254	講師 堀川美子 氏
伊勢のもの学びパート4	8	448	講師 岡田登 氏
夜の図書館ぬいぐるみのおとまり会	1	42	ぬいぐるみのおとまり会と思い出のアルバム作り

(小俣図書館)

行事名	回数	参加人数	備考
	回	人	
おはなし会	90	2,607	図書館スタッフ、ボランティアによる絵本や紙芝居のおはなし会
上映会	22	552	視聴覚室等において映画等の鑑賞
図書館見学	3	278	明野小、小俣小、宮山小
職場体験	5	14	小俣中、北浜中、玉城中、城田中、厚生中
出張ブックトーク	2	386	城田小 (2回)
出張おはなし会	3	203	中島幼稚園
日食グラスを作って金環日食を見よう!	3	96	講師 三重県環境学習情報センター 環境学習推進員
人材育成講座 ブックドクターの“伝えたい!!子どもの力・本の力”	1	82	講師 朗天狗 氏
おしえて!おはなしおばさん!! ～藤田浩子さんに学ぶ、子どもとのふれあい～	1	37	講師 藤田浩子 氏
手づくりはがきでA HAPPY NEW YEAR!!	1	27	講師 三重県環境学習情報センター職員

(3) 施設の維持管理

ア 修繕

伊勢市立図書館の機能の維持を図るため修繕を行った。

伊勢市立小俣図書館 (協定書に基づく10万円以上の修繕) 2件 257,250円

イ 工 事

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
八日市場町 地 内	(注) 伊勢図書館下水道接続 工事	管渠工 L=23m 舗装工 A=67㎡	円 1,242,150	24. 5.23	24. 6.22

(注) 下水道建設課施行

3 図書館協議会

図書館法第14条の規定に基づき、図書館運営等について協議を行った。

平成24年6月11日 平成24年度第1回図書館協議会開催 出席委員11人
 平成24年12月10日 平成24年度第2回図書館協議会開催 出席委員12人
 平成25年3月21日 平成24年度第3回図書館協議会開催 出席委員11人

4 子ども読書活動

(1) 伊勢市子ども読書活動推進会議

ア 伊勢市子ども読書活動推進会議委員 10名

イ 平成24年度委員会議

第2次子ども読書活動推進計画の策定に向けて協議した。

第1回 平成24年6月25日(月) 小俣図書館2階会議室
 第2回 平成24年10月5日(金) 小俣図書館2階会議室
 第3回 平成24年12月3日(月) 小俣図書館2階会議室
 第4回 平成25年2月4日(月) 小俣図書館2階会議室
 第5回 平成25年3月19日(火) 伊勢図書館2階視聴覚室

(2) 「第2次伊勢市子ども読書活動推進計画」の策定

アンケート調査結果及び子ども読書活動推進会議での意見等を踏まえ作成した「第2次伊勢市子ども読書活動推進計画(案)」について、平成24年12月から翌年1月にかけてパブリックコメントを実施し3月に計画を策定した。今後は学校図書館の活性化を重点目標にして取り組む。

○ 計画期間 平成25年度から平成29年度までの5年間

○ 重点目標『学校図書館の活性化』

- ・ 蔵書の更新
- ・ 学校図書館への専門的職員の配置
- ・ 学校図書館の利用促進
- ・ 家庭に対する啓発活動
- ・ 学校図書館システムの活用

○ 青少年育成関係

1 青少年対策事業

(1) 青少年健全育成推進事業

青少年の健全な成長を阻害するおそれのある行為を防止することにより、青少年を保護し、もって青少年の健全な育成を図るため、以下の事業等を実施した。

ア 青少年健全育成のための広報、啓発活動の実施

- (ア) 青少年の非行問題に取り組む全国強調月間、青少年非行防止活動夏季強化期間、子ども・若者育成支援強調月間（下記【県の主な活動】参照）の期間内に、啓発のぼり旗を市役所フェンスに掲示するとともに懸垂幕（『育てよう地域ぐるみで青少年』）を掲出した。
- (イ) 青少年の非行防止と健全育成を呼びかけるため、青少年の非行問題に取り組む全国強調月間中の7月2日に、青少年相談センター・少年サポートセンター・三重県職員とともに、宇治山田駅前等において啓発チラシ・啓発物品を配布した。
- (ウ) 青少年の非行問題に取り組む全国強調月間中の7月6日に、日本たばこ産業が企画する「未成年者喫煙防止キャンペーン」として、おはらい町にて啓発物品を配布した。
- (エ) 各中学校区青少年健全育成協議会の開催する事業に参加し、連携を図った。

【県の主な活動】

- ① 青少年の非行問題に取り組む全国強調月間（7月1日～7月31日）
- ② 青少年非行防止活動夏季強化期間（7月1日～8月31日）
- ③ 子ども・若者育成支援強調月間（11月1日～11月30日）

イ 小中生徒指導協議会事業

児童生徒指導上の諸問題について、小中生徒指導協議会により、小中学生非行防止のための生活指導研修会、非行調査、情報交換などを行った。

ウ 伊勢市青少年育成市民会議

青少年問題のもつ重要性を深く認識し、関係機関及び団体との緊密な連携を図り、広く市民からの理解と協力を得て、次代を担う青少年の健全育成活動を推進することを目的に設立された各中学校区の青少年健全育成協議会で組織された「伊勢市青少年育成市民会議」に対し事業委託を行い、地域での青少年の健全育成に努めた。

行事名	開催年月日	開催場所	内容
青少年育成市民会議 三役会議	24. 6. 4	小俣公民館	年間事業計画、運営委員会議事検討
青少年育成市民会議 運営委員会	24. 6. 6	小俣公民館	総会議事検討
青少年育成市民会議 総会	24. 6. 15	伊勢市生涯学習センター	平成23年度事業報告・決算報告 平成24年度事業計画（案）・予算（案）
青少年育成市民会議 三役会議	24. 8. 23	小俣公民館	地域活動者研修会の事前打ち合わせ

南勢志摩地区青少年育成地域活動者研修会兼青少年育成市民会議研修会「子どもが主役で大人はコーチ～地域で取り組む子育て支援～」	24. 8. 25	小俣図書館	G - upcoaching代表葛巻直樹氏の講演及び市内4中学校区の健全育成協議会・度会町青少年育成町民会議の活動報告を行い、知識向上と情報交換を図った
青少年育成市民会議三役会議	25. 1. 22	小俣公民館	運営委員会議事検討
第2回青少年育成市民会議運営委員会	25. 1. 25	小俣公民館	地域活動者研修会総括及び、翌年度の開催方針を協議
啓発物品の寄贈（贈呈式）	25. 3. 21	小俣総合支所教育委員室	年末年始の冬休み期間に合わせ、市内12中学校区に啓発物品（防犯パトロールPRシート、地域安全・防犯ポケットティッシュ）を寄贈し、市民会議会長から中学校長会長に贈呈式を行った。教職員、PTA、地区の健全育成会が一体となった活動で有効に使用してもらった。

エ 危険箇所への看板の設置

危険箇所を明示することにより注意を喚起するため、各小中学校区における危険箇所へ設置する看板を希望校へ配布した。（平成24年度実績：2校）

オ 青色回転灯車両等によるパトロール等の実施

青色回転灯を装着した車両による下校時の学校周辺のパトロール等を実施した。

(2) 飯田市との小学生交流会の開催

飯田市との小学生交流を通じ、両市の親睦を図るとともに、次代のリーダーを養成するため、交流会を開催した。小学生同士が、夏季に隔年相互訪問交流を実施し、平成24年度は伊勢市の児童が飯田市へ訪問した。

行 事 名	開催年月日	開催場所	参加児童数	内 容
飯田市・伊勢市小学生交流会	24. 8. 2 ～ 8. 3	飯田市内	◎飯田市28人 ◎伊勢市36人 市内12小学校代表	伊勢市小学生代表が飯田市児童を訪問。ブルーベリー狩り体験、五平餅作り体験、美術博物館見学、プラネタリウム鑑賞、レクリエーション、児童会活動発表等。

(3) 新成人のつどいの開催

大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励ますため、平成25年1月13日（日）伊勢市観光文化会館 大ホールにおいて「新成人のつどい」を実施した。

新成人の代表により組織された実行委員会が中心となって、式典の企画等を行った。

成 人 者 数			当 日 出 席 者 数		
男	女	計	男	女	計
649人	668人	1,317人	545人	577人	1,122人

(4) 青少年問題協議会

(ア) 委員数 27名 (平成25年3月31日現在)

(イ) 委員構成

市議会議員、教育委員会、関係行政機関、婦人関係団体、社会教育関係団体、民生委員、保護司等の代表者、及び学識経験者

(ウ) 問題協議会会議の開催

平成25年2月15日(金)、青少年問題協議会設置条例に基づき青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する情報交換、次年度の青少年健全育成に関する方針について協議した。

(5) 青少年相談センター

青少年対策活動の拠点として、青少年の非行防止と健全育成を図るため、次の活動を行った。

ア 概要

(ア) 青少年の問題行動等について、早期発見、早期指導に努めた。

(イ) 相談活動の充実、広報促進と情報収集に努めた。

(ウ) 非行防止活動の拠点として、関係団体との連絡調整にあたった。

イ 青少年相談センター運営協議会

(ア) 委員数 10名 (平成24年3月31日現在)

(イ) 委員構成

教育関係者、民生関係者、警察関係者、学識経験者等

(ウ) 運営協議会会議の開催

平成24年6月13日(金)、青少年相談センター運営協議委員(市青少年相談センター設置規則第6条)において、青少年相談センターの運営について協議した。

ウ 街頭指導実施状況及び相談件数

中央指導員は、月14回程度相談センター職員とともに、公園等子どもの遊び場や危険な場所、非行の温床となりやすい場所、少年に有害となる書物やビデオなどがある所を巡回した。

地区指導員は、巡回場所や時間帯を各地区で設定し、月1回相談センターへ結果を報告した。

街 頭 指 導			相 談 件 数		
回 数	参加者数	指導件数	面 接	電 話	計
505回	1,633人	408件	0件	0件	0件

エ 青少年指導員の委嘱(277名)兼任含む

中央指導員 132名	小中高等学校教諭・婦人会・立入調査員・児童委員・小中高校長会代表・保護司・少年指導委員
地区指導員 145名	小中学校教諭・PTA・地区推進指導員

オ 環境浄化・立入調査活動の実施

有害図書や有害玩具類等の販売状況及び販売方法を調査するため、毎月1回、カラオケボックス、書店、コンビニ、ゲームセンター等への立入調査を実施した。

カ 啓発活動

- (ア) 毎月1回、「青少年相談センターだより『輪』」を発行し、指導員、学校等関係機関へ配付した。
- (イ) 非行防止啓発品等を、近鉄宇治山田駅前やショッピングセンター、おはらい町で配布した。

キ 研修活動

情報交換を含めた各種関係機関との研修会の開催及び参加を行った。

- (ア) 南勢地区高等学校生徒指導連絡協議会（年間）
- (イ) 伊勢市小中学校生徒指導協議会（年間）
- (ウ) 伊勢市青少年指導員委嘱式・研修会（中央4月27日・地区5月29日）
- (エ) 伊勢度会地区生活安全協会少年健全育成部会（6月5日）
- (オ) 年末年始特別警戒出発式（12月11日）
- (カ) 南勢志摩地区青少年育成地域活動者研修会兼伊勢市青少年育成市民会議研修会（8月25日）

○ スポーツ振興関係

1 伊勢市スポーツ推進審議会

スポーツ基本法第31条の規定に基づき、スポーツの推進及び各種団体の育成を図るとともに、生涯スポーツの普及・充実に努めるため設置した審議会において、スポーツ推進計画の取り組みについて意見を聴取した。

- (1) 開催回数 2回(平成24年8月3日、平成25年3月29日)
- (2) 内容

○平成24年8月3日協議事項

- ・伊勢市スポーツ推進計画の実施計画の作成について 他

○平成25年3月29日協議事項

- ・伊勢市スポーツ推進計画の実施計画の進捗について 他

2 伊勢市スポーツ推進計画の実現に向けた取り組み

平成24年3月に策定した伊勢市スポーツ推進計画の実現を目指し、平成24年度の実施計画を作成し、さまざまな取り組みを行った。

【参考】

伊勢市スポーツ推進計画

計画期間：平成24年度～平成28年度（5年間）

基本理念：「生涯にわたり自ら進んでスポーツに取り組める環境づくり」

基本目標：①スポーツ活動の充実

②スポーツ団体の強化

③スポーツ施設の利便性の向上

重点施策：①総合型地域スポーツクラブの育成

②スポーツ施設の充実

3 スポーツ大会の開催

「一市民一スポーツ」を目標に、生涯スポーツや競技スポーツ等の普及振興を図るためスポーツ大会を開催した。

開催日	大会名	参加人員
24. 8. 7	第7回全日本ジュニア体重別相撲選手権大会	27人
24.10. 6～10.10	神宮奉納社会人野球第61回JABA伊勢大会	498
24.10.14	いせスポーツフェスティバル2012 ～みんなでスポーツ！伊勢の日！～ ちびっ子超人選手権（134） 少年野球教室（142） 市民グラウンドゴルフ大会（147） 市民ダンスフェスティバル2012（537） 市民ウォークラリー大会（116）	1,076
24.10.20～21	第28回神宮奉納全日本ソフトテニス大会	260
24.12. 1～ 2	2012 中日三重 お伊勢さんマラソン(※1)	10,031
25. 2.17	第6回美し国三重市町対抗駅伝（伊勢市チーム総合7位）	661
25. 3.26～28	第24回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会(※2)	883

(※1)2012中日三重 お伊勢さんマラソン

昨年度の「2011中日三重 お伊勢さんマラソン」においては、今まで開催日の異なった「中日三重ロードレース」と「お伊勢さんマラソン」を同日開催としたが、本年度は2つの大会を一本化し、ランニングの部において、競技者が参加する「公認の部」を設けた。また、昨年度の反省や意見を踏まえ、各分野の見直しを行うことで、大会のより一層の充実を図ったところ、参加申込者数は11,381人、当日参加者数は10,031人となった。

・部門別参加申込者数

【一般の部】

(単位：人)

年代別	ランニング						ウォーク		計
	5km		10km		ハーフ		男	女	
	男	女	男	女	男	女			
小学生以下	—	—	—	—	—	—	138	151	289
中高生	—	—	—	—	—	—	28	25	53
18～29以下	330	322	379	253	335	123	62	130	1,934
30～39	396	303	478	287	558	178	121	190	2,511
40～49	337	209	404	187	575	184	196	349	2,441
50～59	202	150	293	102	426	83	171	378	1,805
60～69	136	82	253	34	159	18	155	352	1,189
70～79	114	33	71	8	28	3	98	167	522
80以上	35	4	8	—	—	—	14	7	68
合計	1,550	1,103	1,886	871	2,081	589	983	1,749	10,812
	2,653		2,757		2,670		2,732		
	8,080								

【公認の部】

(単位：人)

年代別	3km		5km		10km		ハーフ		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
中学生	—	171	191	—	—	—	—	—	362
高校生	—	—	—	34	95	—	—	—	129
一般	—	—	—	—	10	5	53	10	78
合計	—	171	191	34	105	5	53	10	569

・都道府県別参加申込者数

【一般の部】

(単位：人)

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	2	埼玉県	22	静岡県	83	岡山県	6	佐賀県	1
青森県	1	千葉県	37	愛知県	2,198	広島県	3	大分県	0
岩手県	0	東京都	94	三重県	7,508	徳島県	5	宮崎県	1
宮城県	0	神奈川県	50	岐阜県	210	香川県	1	長崎県	0
秋田県	4	山梨県	3	滋賀県	59	愛媛県	1	熊本県	4
福島県	0	新潟県	2	京都府	68	高知県	2	鹿児島	0
山形県	1	長野県	14	大阪府	229	島根県	3	沖縄県	1
茨城県	8	富山県	7	兵庫県	64	福岡県	9	(伊勢市)	2,698
栃木県	1	石川県	28	奈良県	57	鳥取県	0		
群馬県	2	福井県	11	和歌山県	12	山口県	0	計	10,812

・最高年齢 男子 92歳、女子 89歳

・連続出場者 5回連続 554名、10回連続 56名、15回連続 38人、20回連続 36人、
25回連続 12人、30回連続 4人

〔※2〕第24回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会

全国トップレベルの大会を誘致することにより、青少年スポーツの普及振興と、市民の競技人口の拡大及び技術力の向上を図ることを目的として開催した。

- ・開催場所…市営庭球場、県営サンアリーナ、県営総合競技場体育館
- ・参加選手…47都道府県と伊勢市より男女各1チームの計96チームの選手が参加
- ・種目…個人戦(ダブルス、シングルス)及び団体戦

4 スポーツ教室の開催

(1)「みんなで学校へ集まろう」の開催

市内の学校の体育館を利用して、誰もが気軽に参加できる各種教室を開催し、生涯スポーツの普及を図った。

・開催内容(平成24年6月1日～10月5日)

開催種目	開催場所	回数	参加人数	平均人数
ソフトエアロビクス	御薊中学校	12回	479人	39.9人
フラダンス	倉田山中学校	8	320	40
レクダンス	倉田山中学校	8	392	49
計	—	28	1,191	42.5

(2) 「水泳教室」の開催

B & G海洋センターのプールを利用して、子どもたちが水に親しむことのできる水泳教室を開催した。

・開催内容(平成24年7月2日～7月27日)

開催教室	対象	回数	参加人数
初心者水泳教室	小学生	5回1講座	60人
ちびっこアクアビクス教室	幼児	5回2講座	21
計	—	15回	81

5 ウォーキング事業の開催

スポーツをするきっかけとして、誰もが参加しやすい「市民ふれあいウォーキング」を伊勢市レクリエーション協会の主管により開催した。

事業名	回数	コース	参加人数
市民ふれあいウォーキング	5回	御菌町、二見町、小俣町、外宮・内宮間、 斎宮・宮川間	482人

6 小学校体育部会、中学校体育連盟事業の開催

市内の小学生・中学生の体力の向上と健全育成を図るため、小学校体育部会、中学校体育連盟によるスポーツ大会を開催した。

(1) 小学校体育部会事業

開催日	大会名
24. 10. 15	伊勢市小学校陸上記録会

(2) 中学校体育連盟事業

開催日	大会名
24. 5. 19～20	伊勢市中学校春季体育大会
24. 6. 7	伊勢市中学校春季連合陸上競技大会
24. 7. 7～22	三重県中学校総合体育大会伊勢度会地区予選会
24. 9. 28～29	三重県中学校陸上競技選手権大会伊勢度会地区予選大会
24. 9. 29～10. 7	伊勢度会中学校秋季体育大会
24. 11. 3	伊勢度会中学校駅伝競走大会

7 総合型地域スポーツクラブの育成

生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まで全ての地域住民が、各自のニーズに沿って気軽にスポーツ活動に参加できる、地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図った。

また、各クラブにおいては、年間を通じて多くのスポーツ教室や大会等を開催した。

(表の会員数は平成25年3月現在)

名称	対象地区	設立年月日	会員数
いすずウキウキクラブ	五十鈴中学校区	平成16年 3月13日	429人
厚生総合型スポーツクラブ	厚生小学校区	平成16年 4月 7日	805
みそのスポレククラブ	御菌中学校区	平成16年 4月18日	463
北浜はつらつクラブ	北浜小学校区	平成16年 5月16日	260
きだっこクラブ	城田中学校区	平成17年10月 9日	81
おばたスポレククラブASREC	小俣中学校区	平成18年 4月23日	377
ふたみふれ愛クラブ	二見中学校区	平成24年 2月26日	277
合計			2,692

・総合型地域スポーツクラブ交流会

市内の総合型地域スポーツクラブが協力して運営し、スタッフ及び会員の交流と総合型地域スポーツクラブの啓発を主な目的として次のとおり実施した。

開催日：平成24年11月23日

開催場所：御菌小学校体育館

開催内容：脳トレエクササイズ

各種スポーツ体験（ホールインワンに挑戦、ゴールに挑戦等）

グラウンドゴルフ（雨天中止）

参加者数：194人

8 学校体育施設開放事業

地域におけるスポーツの普及振興を図り、また、地域住民がスポーツに親しみ、交流の場となることを目的に、各スポーツ団体に学校体育施設を開放した。

・学校体育施設開放の状況（H24. 4. 1～H25. 3. 31）

学校名	施設名	開放期間	開放延日数	利用人数
倉田山中学校	体育館	H24. 4. 1～H25. 3. 31	438日	5,675人
厚生中学校	体育館	〃	491	6,580
宮川中学校	体育館	〃	246	2,510
	運動場	〃	45	963
港中学校	体育館	〃	593	5,685
豊浜中学校	体育館	〃	356	4,824
北浜中学校	体育館	〃	140	1,984
沼木中学校	体育館	〃	254	2,097
城田中学校	体育館	〃	285	3,529
五十鈴中学校	体育館	〃	546	6,643
二見中学校	体育館	〃	286	6,782
	運動場	〃	163	2,867

小俣中学校	体育館	H24. 4. 1～H25. 3. 31	285 日	7,894 人
	運動場	〃	65	1,070
	テニスコート	〃	226	3,178
御菌中学校	体育館	〃	349	5,376
	テニスコート	〃	99	727
進修小学校	体育館	〃	274	3,598
修道小学校	体育館	〃	411	6,838
有緝小学校	体育館	〃	584	12,127
早修小学校	体育館	〃	327	4,940
中島小学校	体育館	〃	235	2,783
明倫小学校	体育館	〃	540	6,873
厚生小学校	体育館	〃	261	4,033
神社小学校	体育館	〃	269	4,209
大湊小学校	体育館	〃	472	5,746
佐八小学校	体育館	〃	298	3,697
宮山小学校	体育館	〃	400	5,476
浜郷小学校	体育館	〃	311	4,219
四郷小学校	体育館	〃	310	3,630
豊浜東小学校	体育館	〃	261	2,882
豊浜西小学校	体育館	〃	268	2,964
北浜小学校	体育館	〃	271	6,925
東大淀小学校	体育館	〃	190	1,439
城田小学校	体育館	〃	287	3,278
上野小学校	体育館	〃	162	1,774
二見小学校	体育館	〃	290	4,155
	運動場	〃	255	3,612
今一色小学校	体育館	〃	157	1,992
	運動場	〃	168	5,870
小俣小学校	体育館	〃	301	7,198
	運動場	〃	56	5,463
明野小学校	体育館	〃	279	9,150
	運動場	〃	41	1,775
御菌小学校	体育館	〃	832	13,328
御菌小学校	運動場	〃	223	5,042
計		—	—	213,400

9 全国大会等参加激励事業

各種スポーツ大会で地区大会及び県大会を経て、全国大会以上の大会に出場する個人や団体に激励金を支給した。

- ・支給件数 97件、支給額 3,954,500円
- ・主な大会：国民体育大会、全国高校総体等

10 スポーツ推進委員

各地域において、スポーツ行事、スポーツ教室等を開催し、地域におけるスポーツの普及及び振興を図るとともに、地域住民に対し指導助言を行った。

また、市主催の行事については、昨年度に引き続き、いせスポーツフェスティバルを実施するにあたり企画部会や総会を精力的に開催し積極的に意見交換を行った。また、運営についても中心的な役割を果たし、生涯スポーツの振興に貢献した。

- ・委員数 66名

11 スポーツ少年団の状況

子どもたちのスポーツ活動に関する視野を拡大し、競技人口の一層の拡大を図るとともに、規律ある団活動を通じて、子どもたちの心身の健全な育成を図った。

- ・団数 45団
- ・団員数 1,213人
- ・主な事業

実施年月日	事業名	参加人数
24. 6. 10～	スポーツテスト2012	549人
24. 6. 10	母集団講習会	64
24. 7. 16	スポ少フェスタ2012（たてぼし）	783
25. 1. 20	伊勢市スポーツ少年団交流事業（もちつき）	407

※スポーツテストについては、共通実施日と各団実施の合計人数

12 体育協会の状況

スポーツを健全に普及させ、スポーツ文化の振興に寄与することを目的に、生涯スポーツや競技スポーツを楽しむ機会及び地域の親睦と交流の機会を提供するとともに、スポーツ技術のより一層のレベルアップを図った。

競技団体数は34団体であり、各競技団体において普及やジュニア育成、競技力向上等のための大会や教室を数多く開催した。

また、体育協会の組織強化を図るため、NPO法人化に向けた協議を行った。

13 レクリエーション協会の状況

生涯スポーツの充実を図るため、誰もが親しみやすく参加しやすいレクリエーション大会や教室を、協会及び各団体において数多く開催した。団体数は6団体。

(1) 主な協会事業

実施年月日	事業名	参加人数
毎月1日	一日健康ウォーキング (協会の主催事業)	400人
24. 6. 17	市民ふれあいウォーキング (市主催事業の主管)	70
24. 8. 19	市民ふれあいウォーキング (市主催事業の主管)	52
24. 10. 14	市民ダンスフェスティバル (市主催事業の主管)	537
24. 10. 21	市民ふれあいウォーキング (市主催事業の主管)	75
25. 1. 13	市民ふれあいウォーキング (市主催事業の主管)	133
25. 3. 17	市民ふれあいウォーキング (市主催事業の主管)	152

14 市営体育施設使用状況(24. 4. 1～ 25. 3. 31)

施設名	稼働日数	利用人数
倉田山公園野球場メイングラウンド (※解体工事に伴い、平成25年1月から使用禁止)	115日	18,314人
倉田山公園野球場サブグラウンド	187	4,031
市営庭球場	262	43,916
市民武道館	274	3,784
北浜スポーツグラウンド	231	5,179
宮川スポーツグラウンド(A・B)	223	6,798
宮川スポーツグラウンド(C～E)	244	25,230
宮川ゲートボール場	37	1,260
五十鈴公園野球広場	116	5,760
五十鈴公園球技広場	215	9,933
朝熊山麓公園ソフトボール場	89	4,422
朝熊山麓公園フットボール場(人工芝) (※3/1から伊勢フットボールリーグA～Dピッチに改称)	318	68,894
朝熊山麓公園フットボール場(天然芝) (※3/1から伊勢フットボールリーグEピッチに改称)	82	7,040
二見体育館	218	7,567
二見グラウンド	139	5,461
二見グラウンドミーティングセンター	109	1,952
二見テニスコート	292	8,492
小俣総合体育館アリーナ	307	33,268
小俣総合体育館柔道場	298	12,015
小俣総合体育館剣道場	274	9,944
大仏山公園スポーツセンター	226	13,199

小俣児童体育館	304日	9,960人
御薗B&G海洋センター体育館	339	19,036
御薗B&G海洋センタープール	48	3,394

15 伊勢フットボールヴィレッジ

従来の朝熊山麓公園フットボール場が、人工芝ピッチ2面及びクラブハウス等の新設により「伊勢フットボールヴィレッジ」として平成25年3月1日より供用を開始した。3月中は完成記念イベント期間として様々なイベントを行った。なお、新設施設については平成25年4月1日から一般利用者への開放を開始した。

(1) 完成記念イベント期間中の主な事業

実施年月日	事業名	参加人数
25. 3. 3	①伊勢フットボールヴィレッジ「オープニングセレモニー」 ・テープカット、記念ボール贈呈等 ②サッカー教室 ・市内サッカー少年と伊賀FCくノ一によるクリニック ③オープニングマッチ ・伊賀FCくノ一 vs ジェフユナイテッド市原・千葉レディース	約1,500人
25. 3. 20	伊勢フットボールヴィレッジ「市民開放デー」 ・グラウンドゴルフ大会 ・ニュースポーツ、ミニサッカー、キンボール体験 ・フリスビー投げ、ボーテックス投げ、くつ飛ばし体験及び選手権	約1,000人

16 市営体育施設管理

市営体育施設を管理するため、次の事業を実施した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町内 地	(注) 朝熊山麓公園フット ボール場(天然芝グ ラウンド)管理業務 委託	芝生養生 10,779m ² 除草 グラウンド10,779m ² (工期内に2回)	円 3,391,500	24. 6. 6	25. 2. 28
小俣町新村 地	(注) 大仏山公園緑地等管 理業務委託	芝生管理 一式 立木管理 一式 下草管理 一式 散策路等補修 一式	9,337,650	24. 6. 6	25. 3. 22
計	2件	—	12,729,150	—	—

(注) 維持課施行

17 市営体育施設整備

市営体育施設を整備するため、次の事業を実施した。（平成24年度は整備関係の委託なし。）

(1) 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
小俣町新村地内	大仏山スポーツセンターSOG(LA付)・VT取替工事	高圧気中開閉器取替 1台 計器用変成器取替 2個 接地工事 1式	円 924,000	24. 6. 11	24. 7. 10
宇治館町地内	(注) 五十鈴公園球技広場 グラウンド改修工事	スクリーニングス舗装工 A=2,334㎡	3,285,450	24. 8. 10	24. 9. 19
二見町荘地内	(注1) 二見テニスコート人 工芝張替工事	人工芝撤去工 A=2,037.5㎡ 舗装準備工 N=3.0面 グラウンド・コート用舗装工 A=2,037.5㎡	18,536,700	24. 11. 22	25. 3. 15
小俣町新村地内	小俣総合体育館排煙 窓オペレーター修繕 工事	排煙窓オペレーター取替 2か所	504,000	25. 1. 21	25. 3. 6
〃	(注2) 大仏山公園スポーツ センター吊橋修繕工 事	床板取替え 19枚	1,295,490	25. 2. 1	25. 3. 12
計	5件	—	24,545,640	—	—

(注) 基盤整備課施行

(注1) 下水道建設課施行

(注2) 維持課施行

18 倉田山公園野球場改築関係

建築後40年が経過した倉田山公園野球場の改築を行うため、次の事業を実施した。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
楠部町地内	(注)(注1) 倉田山公園野球場 設計業務委託	施設名称 倉田山公園野球場 構造 鉄筋コンクリート造 3階建 規模 メインスタンド 1,900㎡程度 屋外内外野スタンド 5,600㎡程度	円 27,707,400 (内、平成23年 度からの繰越額 14,358,400)	23. 6. 3	24. 5. 15

楠地部町内	(注)(注2) 倉田山公園野球場 メインスタンド改 築工事監理業務委 託	メインスタンド(改築) 規模 鉄筋コンクリート造 (PC) 3階建 建築面積 1,925㎡ 延面積 3,739㎡ 内外野スタンド(改修) 規模 鉄筋コンクリート造 建築面積 3,445㎡ 延面積 3,445㎡	円 9,430,050 (内、平成25年 度への繰越額 9,430,050)	25. 3. 22	26. 1. 22
計	2件	—	37,137,450	—	—

(注) 建築住宅課施行

(注1) 平成23年度から繰越

(注2) 平成25年度へ繰越

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
楠地部町内	(注) 倉田山公園野球場 メインスタンド解 体工事	メインスタンド解体 一式 RC造 2階建 建築面積 1,180㎡ 延面積 2,360㎡ (観覧席含む) スコアボード解体 一式 バックスクリーン解体 一式	円 23,277,450	24. 12. 28	25. 3. 15
〃	(注)(注1) 倉田山公園野球場 メインスタンド改 築工事(建築工事)	構造 鉄筋コンクリート造 (PC) 3階建 建築面積 1,925㎡ 延面積 3,739㎡ 所要室 観覧席・屋内練習場・ ダッグアウト・放送室・ 更衣室・シャワー室・事 務室・会議室・トイレ等	430,500,000 (内、平成25年 度への繰越額 258,500,000)	25. 3. 22	26. 1. 22
〃	(注)(注1) 倉田山公園野球場 メインスタンド改 築工事(電気設備工 事)	構造 鉄筋コンクリート造 (PC) 3階建 建築面積 1,925㎡ 延面積 3,739㎡	61,582,500 (内、平成25年 度への繰越額 36,952,500)	25. 3. 22	26. 1. 22
〃	(注)(注1) 倉田山公園野球場 メインスタンド改 築工事(機械設備工 事)	構造 鉄筋コンクリート造 (PC) 3階建 建築面積 1,925㎡ 延面積 3,739㎡	60,375,000 (内、平成25年 度への繰越額 36,225,000)	25. 3. 22	26. 1. 22
計	4件	—	575,734,950	—	—

(注) 建築住宅課施行

(注1) 平成25年度へ繰越

文 化 振 興 課

○ 文化振興関係

1 文化振興事業

(1) 市民芸能祭の開催

文化芸術(舞台芸能)の振興を図るため、第56回伊勢市民芸能祭を下記のとおり開催した。

開催部門	開催年月日	開催場所	出演団体数	出演者数	観覧者数
邦楽・舞台芸能	24. 10. 7	生涯学習センター いせトピア	団体 17	人 188	人 410
器楽・合唱	24. 10. 14	生涯学習センター いせトピア	7 10	85 222	180 297
吟詠剣詩舞	24. 11. 3	生涯学習センター いせトピア	8	163	238
バレエ・モダンダンス・フラダンス	24. 11. 11	観光文化会館	10	359	823
フォークダンス他	24. 11. 18	生涯学習センター いせトピア	8	322	414
日舞・民踊	24. 11. 23	観光文化会館	11	210	552
能楽	24. 11. 25	生涯学習センター いせトピア	2	67	57
計	—	—	73	1,616	2,971

(2) 美術展覧会の開催

伊勢市及び近隣市町の文化芸術(美術分野)の振興を図るため、第59回伊勢市美術展覧会を観光文化会館で開催した。また、美術に対する理解を深めるため、会期中に三重県立美術館友の会との共催で美術セミナーを開催した。

ア 部門 平面造形、立体造形、工芸、写真、書

イ 開催日 平成24年10月30日～11月4日(6日間)

ウ 出品点数 平面造形93、立体造形21、工芸38、写真74、書91 計317点

エ 表彰 各部門別に、市長賞、議長賞、教育委員会賞、岡田文化財団賞、神宮大宮司賞、努力賞、奨励賞の表彰を行った。

オ 観覧者数 2,096人

カ 美術セミナー 演題：美人画の系譜 -浮世絵から伊藤小坡まで-

講師：道田 美貴 氏(県立美術館学芸員)

開催日：平成24年11月3日 場所：観光文化会館3階特別室

2 文化財保護事業

(1) 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金

伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、保存継承団体が行う後継者育成事業、備品整備事業、記録作成事業、普及宣伝事業、保存維持事業に対し、馬瀬狂言保存会他21団体に補助金の交付を行った。

(2) 文化財の指定等

平成24年度は、市指定文化財に3件を指定した。

	種別	名称	所有者	指定年月日
市	有形文化財 (建造物)	極楽橋	金剛證寺	24. 9. 24
市	有形文化財 (工芸品)	左衛門太郎六字名号碑	中村町共有 財産自治会	24. 9. 24
市	民俗文化財 (有形)	不断念仏講札額	本誓寺	24. 9. 24

(3) 文化財保存整備事業

指定文化財等の適正な保存管理を図るため、下記事業に対して補助金を交付した。

市無形民俗文化財中小俣かんこ踊り修理事業

- ・名称 中小俣かんこ踊り
- ・種別 市指定無形民俗文化財
- ・所在地 伊勢市小俣町中小俣
- ・所有者（補助事業者） 中小俣自治区
- ・実施期間 平成24年5月25日～平成24年7月29日
- ・事業内容 太鼓の皮の部分の張り替え修繕
- ・事業費 337,000円(市補助150,000円、所有者187,000円)

市天然記念物^{いやさか}弥栄の松環境整備事業

- ・名称 弥栄の松
- ・種別 市天然記念物
- ・所在地 伊勢市大湊町1062-6
- ・所有者（補助事業者） 日保見山八幡宮
- ・実施期間 平成24年4月18日～平成24年8月23日
- ・事業内容 枝を守るために、既設の枝受けの修繕と枝受けの追加
- ・事業費 185,745円(市補助92,000円、所有者93,745円)

県天然記念物松下社の大クス環境整備事業

- ・名称 松下社の大クス
- ・種別 県天然記念物
- ・所在地 伊勢市二見町松下1346
- ・所有者（補助事業者） 松下社
- ・実施期間 平成25年1月29日
- ・事業内容 枯れ枝の剪定除去及び周辺樹木の枝おろし剪定
- ・事業費 14,157円（市補助7,000円、所有者7,157円）

(4) 造船資料保存調査

所管する旧市川造船所資料の価値を明らかにして適切な保存を図るため、継続的に調査を行っている。平成24年度は、紙資料の調査・整理のため、造船知識を有する調査員3人と調査補助員4人の7人体制で調査を行った。

紙資料調査

- ・調査点数 約19,000点
- ・主な資料 明治時代以降の船舶設計図面や事務文書、刊行物など
- ・調査員 3人（有識者）延べ78日（文化財保護事業）
- ・調査補助員 4人 平成24年5月14日～平成25年3月31日（緊急雇用創出事業）

(5) 二見浦保存管理計画運営事業

平成18年7月28日に国名勝に指定された「二見浦」について、平成21年度に策定した名勝二見浦保存管理計画に基づき、適切な名勝の整備、活用及び運営を行うものである。平成24年度は、名勝指定地内における現状変更等の取扱いを調査審議するため、名勝二見浦保存管理計画運営委員会を3回開催した。

(6) 史跡旧豊宮崎文庫保存管理活用計画策定事業

大正12年3月7日に国史跡に指定された「旧豊宮崎文庫」について、適切な保存管理及び活用を行うため、その基準となる保存管理活用計画を策定するものである。平成24年度は、計画策定に向けて関係分野の専門家により組織した史跡旧豊宮崎文庫保存管理活用計画策定委員会を2回開催した。

(7) 史跡旧豊宮崎文庫保存修理事業

「旧豊宮崎文庫」には、往時の文庫を偲ぶ建築物として門と練塀ねりべいが現存しているが、いずれも経年による破損がみられるため、平成23～25年にかけて保存修理を行っている。

平成24年度は門と練塀の解体工事等を実施した。

- ・実施期間 平成24年4月10日～平成25年3月31日
- ・事業費 8,113,493円（国補助4,043,000円、県補助金566,000円、市3,504,493円）

委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
岡本3丁目地内	(注) 旧豊宮崎文庫 修理工事監理 業務委託	門と練堀の修理工事等に係る 工事監理業務一式	円 970,000	24. 6. 29	25. 12. 13

(注) 平成24年度・平成25年度継続費

工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
岡本3丁目地内	(注) 旧豊宮崎文庫 保存修理工事	門：瓦おろし、荒壁付等 練堀：瓦おろし、下地持送等	円 6,777,000	24. 6. 29	25. 12. 13
〃	旧豊宮崎文庫 発掘調査掘削 工事	3か所の調査坑（平面4m× 2m）の掘削	98,280	24. 9. 26	24. 9. 27
〃	旧豊宮崎文庫 発掘調査掘削 工事（その2）	2か所の調査坑（平面7.7m× 3m、5.6m×2m）の落ち込 みと壁面の掘削と水替工	90,300	24. 10. 9	24. 10. 15
〃	旧豊宮崎文庫 発掘調査埋め 戻し工事	1か所の調査坑（平面7.7m× 3m）の水替工と土嚢積み作 業 2か所の調査坑（平面7.7m× 3m、5.6m×2m）の埋め戻し	72,555	24. 11. 1	24. 11. 1
計	4件	—	7,038,135	—	—

(注) 平成24年度・平成25年度継続費

(8) 史跡旧豊宮崎文庫史跡境界確定事業

今後、国史跡旧豊宮崎文庫の史跡整備を進めていく上で、史跡境界の位置を明らかにすることは不可欠の前提であるため、保存管理活用計画の策定と並行して測量業務及び分筆登記等を行い、史跡境界の明確化を図った。

(9) 宮川堤保存管理指針策定事業

昭和12年6月30日に県名勝に指定された「宮川堤」について、国交省が予定している宮川堤改修計画の現状変更に対応するため、その判断基準となる保存管理指針を策定するものである。策定期間は平成24年度から25年度の2か年の予定で、24年度は関係分野の専門家等による名勝宮川堤保存管理指針策定委員会を組織し、計画策定に向けて委員会を3回開催した。

3 郷土資料収蔵施設管理運営事業

郷土資料館は、建物の耐震強度不足と老朽化のため平成22年度末に閉館し、平成23年度に解体した。このことに伴い、郷土資料収蔵施設として松下倉庫と沼木倉庫を活用。資料を統一して分類・管理するため、倉庫間の資料の輸送業務を行った。

4 郷土資料室管理運営事業

現在、教育委員会が保管している資料の一部は小俣総合支所1階に設けた「郷土資料コーナー」で展示を行っている。平成24年度は4回の企画展を開催した。

郷土資料コーナー企画展

企画展名	開催期間
第2回企画展「錦絵でみる伊勢のすがた」	平成24年 4月23日～ 5月25日
第3回企画展「商業チラシでみる伊勢のすがた」	平成24年 7月23日～ 8月17日
第4回企画展「伊勢市の遺跡」	平成24年 9月10日～12月25日
第5回企画展「商業チラシでみる伊勢のすがた2」	平成25年 3月 1日～ 5月31日

5 古市資料館管理運営事業

古市参宮街道ゆかりの資料（妓楼・古市歌舞伎・岩城万金丹・画僧月僊関係等）を展示公開した。

平成18年9月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。また、平成21年度からは指定期間を5年間とし、指定管理者制度を継続して導入している。

【古市参宮街道資料館指定管理者】

- ・管理者名 伊勢古市参宮街道資料館運営委員会 委員長 世古富保
- ・指定期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）

(1) 企画展の実施

名称	期間	入館者数
伊勢の旅館	平成24年 8月 1日～ 8月26日	452人

(2) 平成24年度 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 26	日 27	日 26	日 26	日 27	日 26	日 26	日 25	日 24	日 24	日 26	日 26	日 309
入館 者数	人 367	人 316	人 247	人 252	人 482	人 461	人 247	人 290	人 436	人 1,284	人 622	人 314	人 5,318

(3) 平成24年度 2階研修室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12
回 数	回 54	回 51	回 61	回 53	回 56	回 57	回 61	回 62	回 48
利用 者数	人 589	人 492	人 690	人 533	人 530	人 588	人 648	人 586	人 476
月別 区分	1	2	3	計					
回 数	回 41	回 45	回 54	回 643					
利用 者数	人 442	人 400	人 571	人 6,545					

(4) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
中之町地内	(注) 古市参宮街道資料館外壁補修工事	外壁補修 一式	円 1,881,600	25. 1. 25	25. 3. 15

(注) 建築住宅課施行

6 伊勢河崎商人館管理運営事業

河崎の歴史的及び文化的所産を保存するとともに、伊勢の新しい交流拠点として、また、市民主体によるまちづくりの活動拠点とすることを目的に、平成14年8月25日に開館した。

なお、施設建造物のうち12件は、平成13年に国の登録有形文化財に登録されている。

平成18年9月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。また、平成21年度からは指定期間を5年間とし、指定管理者制度を継続して導入している。

【伊勢河崎商人館指定管理者】

- ・管理者名 特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆 理事長 高橋 徹
- ・指定期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）

(1) 平成24年度 入館者数

月別区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開館日数	日 26	日 26	日 26	日 26	日 28	日 26	日 26	日 26	日 26
入館者数	人 740	人 1,026	人 713	人 602	人 802	人 969	人 901	人 1,030	人 552
月別区分	1	2	3	計					
開館日数	日 27	日 24	日 27	日 314					
入館者数	人 821	人 1,002	人 1,064	人 10,222					

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
河崎2丁目地内	伊勢河崎商人館外壁塗装補修工事	外壁及び板塀塗替 木部保護塗装	円 929,250	25. 1. 25	25. 3. 1

7 尾崎罌堂記念館管理運営事業

我が国憲政史上に不滅の功績を残し、世界平和に尽力した尾崎罌堂の遺品等を収集、保存、展示し、世界平和の精神を顕彰するとともに、教育、学術及び地域文化の振興と発展に寄与するため、展示室の運営ならびに会議室の一般開放を行った。

平成22年4月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【尾崎罌堂記念館指定管理者】

- ・管理者名 特定非営利活動法人罌堂香風 理事長 大川好亮
- ・指定期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日（5年間）

(1) 企画展の実施

名 称	期 間	入館者数
前期 「寄贈品展」	平成24年 8月 4日～ 8月26日	人 152
後期 「素顔の罌堂 ～尾崎家のアルバムから～」	平成25年 2月16日～ 3月17日	156

(2) 平成24年度 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 26	日 27	日 25	日 26	日 27	日 26	日 26	日 26	日 25	日 24	日 24	日 27	日 309
入館 者数	人 557	人 255	人 133	人 176	人 169	人 240	人 160	人 383	人 131	人 407	人 133	人 130	人 2,874

(3) 平成24年度 2階会議室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12
回数	回 57	回 44	回 50	回 58	回 48	回 43	回 47	回 51	回 35
利用 者数	人 1,304	人 647	人 955	人 1,227	人 866	人 765	人 630	人 1,101	人 507

月別 区分	1	2	3	計
回数	回 43	回 54	回 56	回 586
利用 者数	人 831	人 1,078	人 967	人 10,878

8 山田奉行所記念館管理運営事業

江戸幕府が主要都市に設置した遠国奉行を今に伝える数少ない資料館として、山田奉行所に関する歴史的資料の収集、保存、展示を行っているが、常設展示だけでは、山田奉行所に関する事柄を網羅することができないことから、特別展示を開催することにより常設展示を補完し、あわせて来館者の継続的な確保を図った。

なお、山田奉行所記念館友の会に施設の管理業務と特別展の実施業務を委託している。

(1) 平成24年度 入館者数

	市内来館	市外来館	計		市内来館	市外来館	計
4月	人 209	人 43	人 252	10月	人 265	人 249	人 514
5月	236	148	384	11月	137	148	285
6月	353	77	430	12月	143	139	282
7月	191	81	272	1月	146	163	309
8月	172	43	215	2月	182	201	383
9月	273	227	500	3月	325	115	440
				合計	2,632	1,634	4,266

(2) 特別展の実施

名 称	期 間	入館者数
夏季特別展「災害と山田奉行 その 3 津波・地震について」	平成24年 8月23日～10月31日	人 1,041
冬季特別展「宮川水運」	平成25年 2月13日～ 3月31日	624

(3) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金 額	着 工	完 工
御 菌 町 上 條 地 内	山田奉行所記 念館雨戸補強 工事	鴨居等の補強改造	円 151,200	24. 9. 14	24. 9. 28
”	山田奉行所記 念館東側板塀 改修工事	東側板塀の補強	157,500	24. 10. 23	24. 11. 30
”	(注) 山田奉行所記 念館外壁塗装 工事	外壁塗装 一式	2,396,100	25. 1. 25	25. 3. 15
計	3件	—	2,704,800	—	—

(注) 建築住宅課施行

9 全市博物館構想事業

伊勢らしい文化的なまちづくりを進めるため、伊勢市全体を大きな博物館としてとらえ、全域に広がる博物館や自然・文化資産などを相互に連携させて有効活用を図る「伊勢市全市博物館構想」を進めている。

(1) 伊勢まるごと博物館ネットワーク会議

全市博物館構想の推進母体で市内博物館関係者等で構成される「伊勢まるごと博物館ネットワーク会議」を毎月開催し、構想の具現化に向けて検討を行った。

(2) 事業実施

●マップの作成

・市内博物館や点在する文化資産等を紹介する「伊勢まるごと博物館」のマップを作成し、各博物館や観光案内所等で配布した。

●博物館見学手引きの作成

・郷土学習の場としての博物館活用を促すため、「博物館見学の手引き」を作成し、市内小中学校等に配付した。

●わたしたちの伊勢市フィールド講座の開催

・博物館構想の基本的な考え方である「人づくり」を推進するため、小学生の郷土学習に携わる小学校教員を対象に、社会科副読本に登場する偉人や史跡を現地に赴いて学ぶ講座を開催した。

●案内人養成講座の実施

・市内博物館や街中に点在する文化資産の情報発信を図るため、市内で活躍中の観光ボランティアガイドを対象とした「案内人養成講座」を開催した。

●広報いせへの掲載

・広報いせに「伊勢まるごと博物館だより」と題した連載を行い、博物館の活動等に関する情報の提供を行った。

10 観光文化会館施設管理運営事業

(1) 会館管理

民間能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。また、平成21年度からは指定期間を5年間とし、指定管理者制度を継続して導入している。

【伊勢市観光文化会館指定管理者】

- ・管理者名 特定非営利活動法人まなびの広場 理事長 岡島久美子
- ・指定期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）

(2) 会館の利用状況（平成24年度）

（単位：回）

区分	学校等	コンサート		演劇・映画	舞踊・バレエ	大会・総会	講演会・研修会	短歌・俳句等	茶会	学習塾	展示会・説明会	会議・その他	計
		クラシック	ポピュラー・歌謡										
大ホール	大ホール全体	75	32	43	36	55	34	14	0	1	0	9	299
	リハーサル室等	5	7	0	0	24	0	0	0	0	0	0	36
大会議室	全室	8	3	0	0	0	25	9	0	7	6	124	250
	1	0	0	0	0	0	0	6	1	0	12	206	338
	2	1	0	0	0	0	2	4	2	0	9	81	136
	3	1	0	0	0	0	3	8	0	0	5	31	105
	4	1	0	0	0	0	3	8	2	0	1	52	124
小会議室	1	4	2	0	0	0	11	38	6	4	21	206	452
	2	4	2	0	0	0	11	8	1	2	8	147	325
	3	4	2	0	0	0	8	12	49	4	7	71	291
展示室		26	2	0	0	20	0	1	0	4	6	251	358
和室		0	0	0	0	0	2	54	1	4	0	10	161
特別室		0	2	0	0	0	2	4	5	1	3	8	137
計		129	52	43	36	99	101	166	67	27	78	1,187	3,127

(3) 指定管理者主催事業

開催年月日	行 事 名	出 演 者 名 (敬称略)	入場者数
24. 5. 20	第2回伊勢市長杯カラオケ大会2012	一般市民	人 900
24. 8. 25	チャリティーイベント ストリートパフォーマンス2012 FROM BK2 ～ダンスって楽しい！～	県内ダンスグループ	1,000
24. 8. 29	夏休み子どもイベント ～音楽の都ウィーンからのおくりもの～ ウィーンってどこにあるの？ ウィーンってなあに？	三谷 結子・中瀬 あや 中村 寛美	150
24. 9. 2	Pablo音楽祭 公開レッスン・ ロビーコンサート	Pablo音楽祭 村上 準一郎・坂井 俊博 ・松下 彩野・橋本 光博	110
24. 10. 14	大衆演劇祭2012 若手人気役者 夢の競演	竜 小太郎・響 彬斗 橘 大五郎・門戸竜二	571
24. 11. 25	That's が～まるSHOW！	が～まるちよば	702
24. 12. 31 ～25. 1. 1	大晦日は観文に行こに！	劇団伊勢・堤けんと・中瀬 あや・南勢牛鬼太鼓・山吹 会、筒音会・三ツ矢竹輝	283
25. 3. 20	知られざるトランペットとピアノの名曲 の夕べ 岡本愛子&坂井俊博デュオリサイタル	岡本愛子・坂井俊博	250
計			3,966

(4) 管理運営委員会

文化団体や商工団体等の代表者と市職員で構成された管理運営委員会（委員数10名）を開催し、会館の指定管理者業務の報告など、施設の管理運営全般について審議した。

	開催日	内 容
第1回管理運営委員会	平成24年 7月25日	平成24年度事業報告について
第2回管理運営委員会	平成24年11月30日	平成25年度上半期の業務報告について
第3回管理運営委員会	平成25年 2月22日	平成25年度業務計画について など

(5) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金 額	着 工	完 工
岩 渕1丁目 地 内	観光文化会館舞 台吊物設備工事	天井反射板変角機構改修 絞り緞帳ほか諸幕取替一式	円 35,700,000	24. 9. 21	25. 3. 8
〃	観光文化会館屋 外タラップ設置 工事	ステンレス製タラップ取付 工事 一式	1,260,000	24. 11. 19	24. 12. 28
計	2件	—	36,960,000	—	—

○ 市史編さん関係

『第三巻 近世編』と『第四巻 近代編』をいずれも原稿執筆の遅れのため、「編さん大綱」と「刊行計画」を変更し、平成24年度へ繰越明許とした。『第四巻 近代編』は平成24年6月に刊行し、『第三巻 近世編』も平成25年2月に刊行したことにより、全8巻の刊行を終了した。

- 1 伊勢市史編さん委員会（委員11名：学識経験者5名、地域団体代表者2名、市職員4名）
開催回数 2回
- 2 伊勢市史編集専門委員会（委員3名）
- 3 伊勢市史編集専門部会（3部会 委員11名）
近世部会3名、近代部会6名、現代部会2名
- 4 伊勢市史編集専門部会特別執筆者（3部会 委員16名）
近世部会7名、近代部会3名、現代部会6名
- 5 専門部会が実施した調査・作業など
近世部会編集打合せ 29回
- 6 自治会保有文化資産保管・活用への支援
史料整理及び保管・活用支援 9回（朝熊町委員会）

教 育 研 究 所

○ 研究関係

教育に関する今日的、将来的な課題について、教育研究所と学校現場が連携しながら、子どもたちの育成に資する研究を進めた。

1 課題研究プロジェクト

研究協力校	研究課題
伊勢市立早修小学校	小学校外国語活動に関する研究
伊勢市立有緝小学校	食育に関する研究
伊勢市立中島小学校	社会科教育に関する研究 ～歴史教材を活用した授業実践～

2 ICT活用支援プロジェクト

研究協力校	研究課題
伊勢市立大湊小学校	授業におけるICTの効果的な活用
伊勢市立北浜中学校	生徒の意欲関心と学力を向上させるためのICT授業

3 幼稚園教育研究

研究協力園	研究課題
伊勢市立城田幼稚園	友達と仲間になり、生き生きと活動する幼児をめざして ～様々な人とかかわる中で～

4 資料作成研究

①研究協力：歴史資料作成委員会

研究目的：歴史教材『わたしたちのまち伊勢』の編集

②研究協力：社会科副読本資料作成委員会

研究目的：社会科副読本『わたしたちの伊勢市』の編集

5 情報教育研究

研究協力：情報教育研究会

研究目的：コンピュータの学習利用に関する総合的な研究

(ICT研修講座、校内研修用マニュアルの作成、携帯情報端末の授業活用法研究)

○ 研修関係

1 平成24年度 伊勢市教育研究所主催研修講座結果について

(満足度は、満足・おおむね満足の合計)

【教育講演会】

日 時	演題等	講師・助言者等	受講者数 (満足度)
8月 8日 (水) 午後	通常学級における特別支援教育～ユニバーサルデザインの視点から～ 【県との連携講座】	曾山 和彦 氏 (名城大学准教授)	245名 【内保護者15名】 (96.4%)
8月24日 (金) 午後	子どもを取り巻く情報社会の現状と課題～家庭と学校で守る子どもの安全～ 【県との連携講座】	中川 一史 氏 (放送大学教授)	49名 【内保護者6名】 (100%)

【教職員研修講座】

日 時	演題等	講師・助言者等	受講者数 (満足度)
6月14日 (木) 午後	【直山先生の師範授業】 新教材『Hi, friends! 1』を使って 講演：コミュニケーション能力の素地をどう育てるか	直山木綿子 氏 (文部科学省教科調査官・国立教育政策研究所教育課程調査官)	84名 (96%)
7月30日 (月) 午前	【二瓶先生の師範授業】 確かな読みの力を育む物語の授業づくり	二瓶 弘行 氏 (筑波大学附属小学校教諭)	193名 (100%)
7月30日 (月) 午後 8月 7日 (火) 午前	今日から使える書画カメラ・プロジェクター台の製作	東浦 道範 (伊勢市立宮川中学校教頭)	22名 (100%)
7月31日 (火) 午前	体育科における協同的な学び	岡野 昇 氏 (三重大大学教授)	40名 (100%)
7月31日 (火) 午後	講義：いちゃもんを超えて～保護者と向き合う気持ちと教職員の共同性～ ワークショップ：保護者の立場に立つと、教師の態度にむかづく自分がある ～エコロジカル・マップとロールプレイを通して学ぶ～	小野田正利 氏 (大阪大学大学院教授)	46名 (100%)
8月 7日 (火) 午後	理科授業づくりの基礎・基本～わかりやすい観察視点の与え方、成功する実験の仕方～	楠木 宏 (伊勢市立城田小学校教頭)	44名 (100%)
8月 9日 (木) 午後	子どものつながる力を引き出す学級づくり～学級経営の指導の具体的ポイント～	赤坂 真二 氏 (上越教育大学准教授)	88名 (100%)
8月10日 (金) 午前 8月17日 (金) 午後	授業に役立つICTスキルアップ講座	情報教育研究会	20名 (100%)

8月20日（月） 午後	コツがわかれば子どもが変わる！ 子どもが夢中になる図画工作指導～手づくりおもちゃを中心に～	竹井 史氏 (愛知教育大学教授)	46名 (100%)
8月21日（火） 午前	【細水先生の師範授業】 講義:「考える力・表現する力」 が育つ算数・数学の授業	細水 保宏氏 (筑波大学附属小学校 副校長)	85名 (100%)
8月21日（火） 午後	実技で学ぶ、ジャストスマイル・コラボノートの活用	民間 I C T 関連会社講師	26名 (84.6%)
8月22日（水） 午後	誰もが行きたくなる学級・学校づくり	栗原 慎二氏 (広島大学大学院教授)	51名 (93.6%)
8月23日（木） 午後	教師の元気アップセミナー	諸富 祥彦氏 (明治大学教授)	70名 (100%)
9月27日（木） 午後	授業におけるICTの効果的な活用 【授業者】山本真二・山本充 (大湊小学校教諭)	出口 晃 (明倫小学校校長)	24名
11月16日（金） 午後	友達と仲間になり、生き生きと活動する幼児をめざして～様々な人とかかわる中で～ 【公開保育】 山中 公代 (城田幼稚園主任) 東世古智美 (城田幼稚園教諭) 中村 桃子 (城田幼稚園教諭) 西村みずほ (城田幼稚園支援員)	太田 仁氏 (梅花女子大学 心理子ども学部 心理学科教授)	45名
11月20日（火） 午後	明治維新から世界の中の日本へ～地域にある教材から～ 【授業者】武久 隆弘 (中島小学校6年)	松村 勝順氏 (皇學館大学講師)	45名
11月22日（木） 午後	わかる・つながる・高めあう子どもをめざして～食に出会い・人に出会い・自分に出会う～ 【授業者】 榊原 隆志 (有緝小学校1年) 大島 加愛 (有緝小学校3年) 松井真紀子 (有緝小学校5年)	指導主事数名	85名
1月18日（金） 午前・午後	『Hi, friends! 1』を使って 【授業者】 横山 滋 (厚生小学校教諭) 直山木綿子 (文部科学省教科調査官) 北岡美代子 (教育研究所研修員)	直山木綿子氏 (文部科学省教科調査官・国立教育政策研究所教育課程調査官)	34名
1月24日（木） 午後	生徒の意欲関心と学力を向上させるためのICT授業 【授業者】 蔦井 正彦 (北浜中学校教諭)	高村 勝 (御園中学校校長)	27名
2月14日（木） 午後	「オリジナルの物語を作ろう」の指導に関する研究 【報告者】北岡美代子 (教育研究所研修員)	鷹巣 雅英氏 (日本英語教育学会理事)	26名

2月21日（木） 午後	子どもの自立を支援する組織 づくりとネットワーク体制の 充実について 【報告者】山田水奈子 （教育研究所研修員）	前川知奈美 （教育研究所臨床心理士）	28名
----------------	--	-----------------------	-----

【乳幼児教育専門講座】

日 時	演題等	講師	受講者数（満足度）
6月10日（日） 午後	途切れのない発達支援講演会	十一 元三 氏 （京都大学大学院教授）	202名 【内保護者62名】 (99%)
8月10日（金） 午後	幼児期における豊かな人間関 係づくり ～5歳児の協同性を育む～	篠原 孝子 氏 （聖徳大学教授）	59名 (100%)

○ 子どもリレーションシップ総合推進事業

1 「いじめ」の早期発見・未然防止のため「子どもたちのよりよい人間関係づくり」に関する研究を行った。

2 研究推進モデル校24校を指定し、研究推進モデル校には、非常勤講師を派遣して研究体制の強化を図った。

【研究推進モデル校一年次】

有緝小学校・厚生小学校・神社小学校・豊浜西小学校・北浜小学校・今一色小学校
小俣小学校・御薊小学校・厚生中学校・北浜中学校・沼木中学校・城田中学校

【研究推進モデル校二年次】

修道小学校・中島小学校・佐八小学校・浜郷小学校・四郷小学校・豊浜東小学校
上野小学校・城田小学校・宮川中学校・港中学校・二見中学校・小俣中学校

※一年次の学校については、主に学級集団の把握・分析について研究を進め、二年次の学校については、よりよい学級集団の構築についての研究を進めた。

3 研究推進モデル校においては、児童生徒の状況をつかみながら、それに応じた指導を行うために、年に2回、hyper-QU（hyper-Questionnaire-Utilities よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート）を実施した。診断結果を活用し、学級集団の状況や個人の対人関係力の把握を行い、指導に活かすことができた。

4 不登校の理解と対応のための教職員資料集『ハーモニーハート』を作成した。

○ 不登校対策ハートケア事業

1 教育支援センター「NEST」活動状況

伊勢市教育支援センター「NEST」では、不登校児童生徒の社会的自立を目指した早期学校復帰に向けて、NEST伊勢教室（月・水・木）とNEST沼木教室（火・金）を活動拠点に、相談・支援・指導を行った。NEST沼木教室では、自然豊かな環境を生かし、スポーツや工作、栽培活動や調理実習など様々な体験活動を行った。

また、土・日・祝日を除き、毎日午前9時から午後5時まで、教育支援センター指導員及び研修員の3名により教職員及び保護者からの電話又は面談による相談に応じた。

平成24年度教育支援センター「NEST」相談件数（延べ件数）

電話	来所	学校訪問	計
1,119	155	156	1,430

2 不登校問題事例研究会の開催

不登校児童・生徒の不登校にいたる要因や背景の分析や具体的な支援の方法についての研究を目的に、研究会を開催し、心療内科医や臨床心理士の先生方の助言をいただきながら進めた。参加教員のカウンセリングマインドの育成とともに、子どもに接する時のポイントや具体的な支援の方法を学び合うことができた。

開催日…平成24年6月21日(木)、11月8日(木)

3 フレンドシップワーク事業

学生ボランティアによる相談員(メンタルフレンド)を募集し、教育支援センターでの宿泊体験やふれあい広場(スポーツ体験)等、日々の支援を行った。また、学生相談員(メンタルフレンド)のための研修会を開催し、相談者としてより効果的・実践的な活動ができるように努めた。年齢が近いため、子ども達にとって関わりやすく、自立に向けた人間関係構築の一助となった。

4 ふれあい広場（スポーツ体験）

毎月第2水曜日にサンライフ伊勢で、教育支援センター「NEST」通級児童生徒や不登校気味、引きこもりがちな児童生徒を対象に、卓球やバドミントン、ソフトバレーボールなどのスポーツ体験を行った。

○ スクールサポート事業

1 教育相談 相談件数…112件

土・日・祝日を除き、毎日午前8時30分から午後5時15分まで、電話又は面談による教育相談を実施し、教育相談員（コンサルタント）4名が教育相談に応じた。

教育相談内容別件数

不登校	進路	学習	いじめ	友人関係	非行	クラブ	性	特別支援	心身神経症・症	し子育て	生活一般	その他の	計
12	1	7	14	13	1	0	0	3	3	16	7	35	112

2 学校訪問 訪問件数…97件

4月～5月に、教育相談員（コンサルタント）が全小中学校を訪問し、各学校の状況を把握した。また、実態に応じて学校を巡回し、相談に応じた。さらに、学校からの要請に応じて相談・指導・助言を行った。学校が行う生徒指導において、指導助言や情報提供を行うことで、各学校におけるいじめ等の問題への早期発見・早期対応を図ることができ、未然防止につなげることができた。

教育コンサルタント活動件数

学 校 訪 問	巡 回 相 談	要 請 訪 問					計
		学 校 ・ 学 級 経 営 相 談	特 別 学 級 支 援	言 語 研 修 会 講 師 ・ 助 言	相 談 ・ カ ウ ン セ リ ン グ	援 助 セ ン タ ー 等 （ 他 種 支 援 ）	
55	16	10	15	0	1	0	97

3 緊急支援員の派遣

各学校の様子及び要請に応じて、1箇月を原則として緊急支援員を配置した。状況に応じた緊急的な措置を行うことにより、様々な問題への早期対応を図ることができ、未然防止につなげることができた。

緊急支援員派遣延べ日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	0	2	53	42	2	75	83	82	57	49	57	64	566

4 カウンセリング 相談件数…684件

臨床心理士によるカウンセリングを、月～金曜日・午前9時～午後5時に開設した。悩みを持つ保護者やその家族からの相談が多く、中には本人からのものもあった。専門的かつ継続した指導が可能で、親の不安の解消だけでなく、教育支援センターへの通級や社会的自立に向けた学校復帰を可能とした。

5 パンフレット及び相談カードの配布（4月）

パンフレットと相談カードを市内小中学校の全児童・生徒、教職員等に配布し、いつでも相談できる体制が整っていることを知らせた。

○ 情報提供

1 情報提供及び教育資料の整備

研究授業のビデオ撮影とイントラネットでの配信、市内小中学校の研究紀要のデータベース化、国内各研究機関の研究資料の収集等、教育図書、研究資料を整備、充実するとともに、その活用を図った。

2 研究物の発刊及び広報活動

- ①「伊勢市教育研究所要覧」
- ②「しよほう」第12号（11月発行）・第13号（3月発行）
- ③「たより」1～15号
- ④「研究紀要」47号（年1回発行）